愛國婦人

定價一部金參錢五厘　一ケ月分金七錢　半年分金四拾貳錢　全冠無郵送料
廣告料一行六拾錢
本號全部禁轉載

毎月二回　五日廿日發行
發行所　東京麴町區(牛ケ淵公園)　愛國婦人發行所
印刷兼發行人　山澤俊夫
編輯人　永持德一

帝國唯一最廉最良の家庭教育雜誌の大發展!!

大革新後第一の愛國婦人新面目の新盛粧!!

家庭の和樂

如何にして家庭の和樂を圖るべきか。これ、主として一家の主長たり、主婦たるものゝ、彌が上にも思を潜めて研究せねばならぬ大問題と私は信じます。渇を醫すものは、泉の水であります。日々の務の憂さをも愁さをも忘れ、翹の翼を休むべきところ、家庭の他にはあるまいと思ひます。この疲れし心の渇きを醫すべき家庭が、その調和を缺き、圓滿を損れ、毫も和樂を發見し得なかつたならば如何でありましやう。數號前から、此の『家庭の和樂』と云ふ問題に就いて、或ひは寄稿を乞ひ、或は諸家の意見をたたき、本誌に掲げ、更に將來にも、出來得る限り諸家に就き此の問題に對する意見をうかゞつて見やうと致して居りまするのも、これ實に重大の問題と思ふからで御座います。斯く申す編輯主任も亦た、兎にも角にも、一家の主長であり、夫たり、父たる一人であり、また同時に子たり孫たるものゝ一人で御座いまするに依つて私相應の意見を持つて居ります。ぢやに依つて此號は、私の思ふところを述べさせていたゞかうと思ひます。鳥渡、お斷り致して置きますが、此處に申し述べます私の意見は、『家庭の和樂』と云ふ問題に就いて私が平素感じて居る感想の眞の一部のみで御座います若し夫れ、此の大問題に對し、飽まで研究的態度を取り、深く議論を致す曉には我が『愛國婦人』一冊や二冊では到底述べ盡くせることでは御座いませぬ。緒言は先づ此の位に致し、以下本文に取りかゝりますが、何人でも宜しい、愛讀諸姉のお中で、此の問題に就いて何か、お考へがあり、若しくは實驗談が有せらるゝ諸姉は、萬望、それを寄書していたゞき度い。五行でも、十行でも決してさしつかへ有りません。要は、諸姉のうちに、斯ういふ境遇の家庭に居るとか、滿足して居らるゝか、不滿足で居らるゝか、何う云ふ點を要求されて居るのか、それを知りたいので有ります。

編輯主任　永持德一識

執着の程度（上）

悉多太子の決心――十字架上の基督――我利々々主義――執着を擲て

『夜は深く人定まりぬ。今や萬籟寂として天地死せるが如し。太子は獨り後宮に坐し靜に幽思に耽れるが、流石に父王の愛情を思へば、心怵惕として安からざる所あり。嗟世は無明の闇に鎖されぬ。救ひの光、何處にかある。』これは『釋迦傳』の一節、佛陀出城前の心の有耶無耶を寫してある處であります。此文に太子とは申すまでも無く悉達多、即ち悉達太子、父王とは迦毘羅國王淨飯のことであります。此の砌悉達太子、即ち未來の釋迦は年齒方に十九歳で御座いました。

その身、一國の太子として生れ、住むに莊嚴善美を盡せる王宮あり、配に美姫耶輸陀羅姬あり、しかも數千の婇女は未來の佛陀の周圍を取り圍んで居るのであります。加ふるに父王淨飯の鍾愛擁護は殆んど到らぬ隈も無かつたので御座いました。それにも關らず、世の無明を觀ずるなどとは殆んど嘘のやうで御座いますが、しかしながら、その身佛道に志す人と、然ならぬ人との區別なく、總ての人の等しく認めて居る事實であります。

釋迦出城の決心を説明するのが私の目的では御座いませぬ故に、此處に深くは述べませぬが、要するに此の時釋迦は現世の執着より脱して、その心來世に憧るに到つたのであります。迷と感ぜし現世に對する執着を去り、悟と見し來世に對する新たなる執着心を起したのでありまする。來世に對する大いなる樂觀は、現世に對する大いなる悲觀と相交代したのであります。

現世を迷の穢土と悲觀するのは、心來世に執着するのあまり、現世の價値を無視するからでありまする。諸姉妹も御承知のやうに、大いなる悲觀は大いなる樂觀に歸すと云つて身を瀧壺に投じた青年がありました。彼は餘り其の悲觀に執着し過ぎたが爲めに、樂觀の價値をば零以下に無視したのであります。

基督は十字架の上に於てまでも、我が身今か三寸呼氣斷るなぞと云ふやうな問題などは更に思はず、反つて己れを十字架に附けた人の爲めに祈りました。これ甚だ矛盾致して居るやうではありますが決して然らず。この時に於ける基督の執着は毫も己れの肉體の上に無くして、世及び人の靈――救ふ必要ある他人の靈の上に在つたが故に、たとへ其の肉體は寸斷されやうとも、何の痛痒を感ぜなかつたこと、思はれます。

迷ふ者、迷ひに執着し、悟る者、悟りに執着す。長き浮世に短き命。人たるもの何か執着せずには居られないのでありまする。

△我利々々主義

『迷は長く、悔は短し。』たしかゲーテの句と覺えて居ります。觀じ來れば迷悟は唯だ一重の薄紙を隔つるのみ。それにも關はらず、財あるものは財寶に執着し名譽を重んずるものは名聞に執着し、家道をのみ尊しとするものは、家道をのみ重んずることにのみ執着し、執着、又た執着、殆んど停止する處を知らぬので御座いまする。

財に執着する、必ずしも善からぬとは言ひ斷りませぬ。が、しかし、それにも一定の程といふものがある。程を過せば吝嗇となる。程々にして置けば節儉となるのであります。名譽を重んずる、必ずしも惡いことでは無い。併し、一定の度を過せば、名譽を喰むに至る。これ甚だ宜しく無い。家道に執着するとも其の通りて、三年、父の道を變へざるとは宜しいてありましやうが、これが宜しきを得ず、その度を過すと我利一遍となる。所謂我利々々主義。これ極めて宜しくない。家庭に於いて平和の屢々害せらるのは、多くは此の我利々々主義の衝突と云つて宜しい。

次號以後の本欄

には『執着の程度』の續稿を初め廣岡淺子　喜悅孝子　兩女史の金玉の文字を掲げます。

平和の戰爭

愛國婦人諸姉の溫かなる御同情を仰ぐ　鳳舞園主　大迫貫爲

愛國婦人諸姉よ諸姉の日露戰役に際し燃るが如き熱誠を以て軍國の爲めに貢獻せられし偉勳は赫々として天日と光りを爭ひ國民の齊しく敬服する處であります今や我國の武威は天下に輝き一躍世界强大國の列に加わるに至りました併し一喜あれば又一憂ありて是れと同時に我が財政は日に困難に陥り外債は拾三四億萬圓に達し年々六七千萬圓の金利を外國に支拂はねばなりません加之平和の戰爭には國民甚だ不得手でありまして百戰百敗每歳數千萬圓の輸入超過を見るに至れるは豈に痛歎すべきことではありませんか

此時に當り本園は外入品を防遏し進て輸出を謀り國益の幾分を裨補せんと欲し先づ優等なる香水香油の製法に付寢食を忘れて研究を盡し苦心慘憺の末暗中漸々光明を認め遂にオペラ香水及びオペラ香油を發明製出して茲に屑く外入品と戰を交ゆるの機運に達しました凡て香水は香氣高尙にして永く保つものを貴ぶのでオペラ香水は此點に於て實に優秀無比でありまして又オペラ香油は油質芳香絕良にして使用者に快感を與へ毛髮の色澤を增し發育を助け癖毛の直るは實驗上靈妙不思儀でありまする以上兩品共幸に愛國婦人諸姉の御贊助を得るに至りましたならば外入品を壓倒し國家の爲め萬歲を唱ふるも敢て難事に非ることを信ずるものであります

右發賣以來畏くも久邇宮妃殿下御買上の榮を賜ひ又我國經濟界の泰斗たる松方侯爵家及び東鄕大將伊東元帥高崎御歌所長邸其他各名家に於て續々御愛用を玉ふに至れるは實際品質優良にして上流社會の愛用に好適する所以の確證でありまして此上なき本園の面目と云わねばなりません今後益々奮て平和の陣頭に立ち粉骨碎身大に戰ひ大に勝ち以て報國の實を擧げたき熱望でありますから何卒諸姉に於ても本園の微衷に御同情を寄せられ外入品を驅除して本香水及び本香油御愛用の榮を給ひ末永く御引き立の上本園をして最後の勝利者たるの名譽を得せしめられんことを千祈萬禱の至りに堪へません謹て御願ひ致します

本園は忠愛なる愛國婦人會員諸姉に對し聊か微意を表する爲め兩品共定價の二割引　無送料にて御注文に應じます　オペラ香水の定價は懷中瓶廿五錢小瓶四十錢中瓶七十錢大瓶一圓八十錢オペラ香油の定價は小瓶廿錢中瓶卅五錢大瓶五十錢發賣元は東京日本橋區米澤町一丁目鳳舞園で電話は浪花四〇三九番であります續々御注文御願ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社說

先代萩を觀る

善は最後の勝利者なり。財産、地位、計略、强迫、あらゆる手段を以てするも、惡は遂に善の敵にあらず、如何なる辨解も、追從も、權威も、命令も、惡をば善と爲すこと能はず、惡は要するに惡なり、弱者なり、劣者なり、眞の力、眞の强みは、善なるもの丶所有なればなり。

余頃日「先代萩」を歌舞伎座に觀る。七寶形に、本邦の樂器をあしらひたる舞臺正面の欄間、四方紅葉の幔幕を廻らしたる中に、天女の舞へるを繪ける天井を始め、場内の構造裝飾の善美を盡くせる、流石帝國第一の劇場として、人目を驚かすに足る。

されど、こは要するに付けたりなり。數千の觀客は、これを見んがために來りたるにあらず、團藏の仁木を見、芝翫の政岡を見、梅幸の八汐を見、松助の外記を見んがために來れるなり。善惡の兩主義が、如何に死力を盡くして戰ひ、爭ひ、時に惡が如何に成功せんとし、善が如何に敗北せんとせるかを、憤り、氣遣ひ、憎み、憐み、而して最後に、善が當然の結果として、その間違ひなく占むべきの運命―勝利―に到達せるを見て、安心し、滿足し、喜悅し、善のために凱歌を奏せんがために來れるものなり、余は數千の觀客中、一人として、政岡、外記の勝利に落膽し、八汐、仁木の敗北を殘念に思へるものなきを信ぜんと欲す。萬一我れは然らずと名乘る者あらんか、余が舞臺に彼れを引摺り行きて、彼れを樸り倒し鼻つらを舞臺にすり付けたりとも觀客一同は、承知なるべし。人間の本心は善なり、惡を憎み、善に同情し、而して自らも善を行はんと欲するの情は、何人の心の奥にも潜めるものなり。先代萩を見て、政岡に泣き、八汐を憎み、外記を憐み、仁木に憤るの情は、これ人間の眞情なり、人間の人間たる所以なり。余は觀客のすべてが、純美の人なりとは思はず、劇場以外に在りては、隨分如何はしき人間もあるべし。然れども、場内に在りて先代萩を觀居れる間は、眞面目なる本善の人間となりて、その靈性を活潑に働かしめつゝあるなり。觀客のすべてが純善の人となり居るなり。舞臺を見ると共に、觀客を見よ。これ天使の群れにあらずや。誰れか劇を以て罪惡墮落に導くものとなすぞ、劇場は一大道場なり、人間靈性の精錬所なり。但し當今の所謂自然主義の劇は與らず。

先代萩を見る者は、善惡の爭鬪と成敗とに就て、大なる敎訓を受くるのみならず、又日本婦人の優秀なる性質に向て感嘆せざるを得ざるべし、政岡は外國になく、唯日本にあるのみ、固より日本婦人にも、缺點はあるべく、我れの彼に及ばざる所もあるべしと雖も、政岡が代表せる美質はこれ日本婦人の誇りにして、この美質の日本の母に保存せられ、承け傳へらるゝ限りは、忠義の種切れとなることなく、日本の國家は萬々歲にして、政岡こそは、誠に國の礎といふべきなれ。知らず當日觀客の十の七を占めたる婦人は、何ものを政岡より得、如何なる覺悟を政岡より受け繼がれたるぞ。

お乳の人政岡の歎美すべきは勿論、中老沖の井松島もまた感心なる婦人なり。婦人は、善の發頭たる政岡となる能はずんば、せめては善の助勢者たる沖の井、松島とならざるべからず、彼等の襠裲姿は實に立派なり、されどその帶に挿める九寸五分こそは、一層立派なるものなれ、この九寸五分は、婦人の忠義、貞操、覺悟の印にして、婦人最後の據り所なり、彼等は、文官が大禮服に劍を着くるが如く、裝飾にこれを挿せるにあらずして、婦人の嗜み、決心を示し、その侮るべからず、侵すべからざる所あるを表はせるものなり。今日は、婦人が帶に短刀を挿む世にあらず。簪、リボンの嗜み深く、呉服屋大繁昌の世なれども、凜として侵すべからざる確かなる所ある婦人が、不相變今の日本にも欲しきなり。日本の强みは、唯盛裝して芝居を見る婦人の多きにあらずして、政岡、沖の井、松島のあの九寸五分に目を着くる婦人の多きにあるなり。

千松、鶴喜代君に就きても、婦人の眼をもてこれを觀、我が子に敎へ聞かすべきもの多けれども、そは觀る人に任せて、こゝにはこれを說かざるべし。

最後に團藏が、七十三の高齡を以て、なほ自己の生命とせる藝術に忠實に盡せるは、早老隱居の癖ある日本人に、元氣と生命とを與ふるの刺戟として、又その入神の妙技は、熱心と勉强が、あらゆる業務の上達に、缺くべからざることを示すの手本として、人を感奮興起せしむる所なくんばあらず。豈唯一藝術家とのみ見るべきものならんや。

當代百畫選（五）

△勝どき

梶田半古氏筆

懸賞「梅か櫻か」

―空前の大盛況―

應募端書編輯局机上山を築く

全國各地より應募者陸續

本誌前號に發表致しました『懸賞梅か櫻か』は讀者諸姉から非常の大喝采を博しまして、その結果、發表の翌日、即ち廿一日から日々何百通となく、全國各地、否、全國のみては御座いません、清國からも、韓國からも、日々陸續として寄せらるゝ應募端書は編輯局の机上に山のやうになるのであります。

が、併しながら、十が十まで全然間違なく考へ當てた姉妹は、未だ殆んど無いと云つても宜しい程で御座います。此のやうな次第で御座いますから、萬望、今一應、好く／＼お考へになつて、更に、應募して戴きたい。と、申すのは、成うことなら、百人が百人全體、千人なら千人殘らず否、一萬人が一萬人まで、殘らずの應募者諸姉に、一人不殘、當選して戴きたい、賞品を進し上げたいからで御座います。

尤も此の懸賞の締切期日は四月の末日ですから、まだ／＼餘日が幾許も御座います。て有りますから、萬望、充分能くお考へになつて、これから必然間違ひの無いと云ふやうにして應募して戴きたいのであります。

尙ほ一言、未だ此の懸賞に應募なさらぬ姉妹に申し上げて置きますが、此の新案懸賞『梅か櫻か』の題は、本誌前號、即ち三月二十日發行の『愛國婦人』第百四十九號の書附錄に附いて居ります。

その書附錄には、何れが梅やら櫻やら見まがふ程可愛い男女兒十人の寫眞が附いて居ります。この十人の男女兒のうちて、何れが男の兒、但しは何れが女の兒と云ふのを當てれば宜しいのです。

應募なさる方は、普通の端書に1が男2が女と云ふやうに書いて東京麴町九段阪下牛ケ淵公園愛國婦人會內愛國婦人發行所宛てに送つて下されば好いのです。手續きは、此のやうに至つて簡單い上に至つて面白いのです。そして、當てた方には今回、愛國婦人發行所から發行する『女德論叢』と云ふ面白い書籍を一部づゝ差し上げるのです。

今一つ、四月から新たに愛讀さるゝやうになつた姉妹に申上げますが、此の懸賞題の書附錄の附いた前號、即ち百四十九號の殘部が、未だ少しは御座います。ですから、此の當て物に應募しやうとの覺し召しの姉妹は、至急御申込みを願ひます。但し、前號は値上げ以前の分てすから三錢で宜しいのです、即ち三錢郵劵を封入して御申越しになれば、御申越し次第に、前號を御屆け致します。

最後に、今一つ御注意致して置きますが、應募者は必らず愛國婦人發行所宛てにお送りを願ひます。左樣て無いと兎角間違ひを生じ易いと思はれますから、呉呉も御注意致して置きます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國講座

人情講話

「人情講話!」飛んでも無い!!と、お叱りがあるかも知れぬ。お叱り、結構!否、御尤!!が、唯だ題が奇抜なばッかり。樂屋の底を割ると、何だ無價値!とお小言が出るか、成る程、これは好い思ひ付きだと、感服されるか、但しは……否、それも之れも後のこと!何はしかれ人情講話はさあ、これから始まり〳〵!!

義理と人情

昔、古來からの云ひ傳へに「義理と人情には代へられぬ」とある。抑や抑も、此の人情とは何であらうぞ。人情本、人情話、人情の粹、人情無しと、昔、古來から幾様にも言はれ、云ひ傳へられてある。人情の爲めに義理を捨てる人があるかと思へば義理に迫つて人情を無視する人も廣い世の中にはあります。人情の爲めに義理を無みする所謂粹人が兎角無の中に多い。斯う云ふ人は

人情の柵

に縻まれて、金城鐵壁とも或る人からは云はれて居る義理の柵の外に逸するのであります。吁、義理が重いか、人情が重いか。義理の柵のみを之れ重しとして、全然人情の埒以外に逸する人が果して英いのか。但しは、世澆季にして人情薄紙の薄きが如しと長大息する、その人の所謂人情は、別の人情なのであるか。が、併し、人情には二種無い筈。と思ふと細かしい人情と云ふものが、鳥渡解りさうで解らなくなる。今回、人情講話と云ふお談議を開始するやうになつたのは、即ち、この爲めに外ならぬので。

情の時代

前段にも述べた通り、人情の柵に義理を無みする人が、古往今來實に多い。仰山にある。斯う云ふ實例を作る人には、兎角、血の氣の多い、所謂「情の時代」に在る青年男女が多いやうである。斯う云ふ徒は、義理と云ふものばかりを金城鐵壁と確信する義理一天張の人からは、人非人、義理不知、阿呆漢とばかり思はれがちである。

成る程、人情にばかり重きを置いて更に義理を省ぬ人の裡には、隨分と阿呆漢もあらうし、人非人もあらうし、義理不知もあらうとは思ひます。なれども、人情に重く、義理に薄い人の總てが必ずしも、人非人、阿呆漢では無からうと思ひまする。

人情の實例

爰に、つい此の間の新聞に載つた、斯う云ふ實例がある。名は憚つて此處に申しませぬが、兎に角、中流社會の紳士として、幾分その名をも世間から知られて居る一法學士を一家の主人に戴いて居る一箇の家庭があります。その家に今年二十三歳になる一人の容貌美しい令孃がある。此の令孃は某女學校の卒業生て、仲々文學趣味とやらがあるとのことである。

扨てまた、此處に斯う云ふ他の家庭がある。その主人公は文學士、年齡は先づ三十左右。この文學士には妻もある、子供もある。然るに、何時しか、此の文學士は、前記の令孃に想ひを寄するやうになつたと思召せ。情と云ふ恐しい柵にひしと縻れた此の文學士は、所謂有らうことか、妻子を先づ郷里に返し、遂に此の令孃に對し飽まで其の非を遂げやうと企つるに到つた。が、しかし、未遂にして、それが發見された。

以上が最近の新聞に掲られた一例であります。令孃は別問題として、此の文學士は實に不埒極まる人と云はねばならぬ。人非人である、阿呆漢である、と、何の點から見ても云はねばならぬ。

此の人情講話に於いて研究して見たい要點は、此の實例の中に澤山あります。

人情の解剖

以前の實例に依つて、先づ細かに人情と云ふものを解剖して見たいのであります。解剖と云ふのは他でも無い。

第一が　親子の情
第二が　夫婦の情
第三が　情人の情

の三者に解剖が出來やうと思ひます。

第一と第二とは義理と兼ね合つて往ける人情、義理と衝突せぬ人情であつて、彼の令孃が父なる法學士及び母なる法學士夫人に對する關係、それから今一つ、彼の文學士が其の子に對する關係。この關係は云ふまでも無く親子の情で繋つて居つて、常識と云ふものを失はぬ以上、決して人の親たり、子たるもの丶胸中から除去る丶筈が無いと思はれます。彼の文學士その人は、既に人の子に父たる者である以上其の子に對し、父たる情合が無ければならぬ。人情が無ければならぬ。

然るに全く之れを無みして、思ふ女と無分別を企てる。即ち第一義の人情をば、全然無視して居ります。それのみか、此の文學士既に已れに子と云ふもの丶ある以上は、如何に熱烈な情に陷るとも、已れの意中の人たる令孃に父、母たる人に對しても、第一義の人情を保ち行かねばならぬのであります。かるが故に、この法學士は自己が父たる人情を無みするのみならず、第二者たる情人の令孃に對して、令孃の父母が如何なる人情を有して居るかにも無頓着であると云はねばならぬ。

即ち、此の文學士は第一義の人情を二重に無視して居るのであります。

夫婦の情

扨て以下第二夫婦の情に遷るのが順序であるが、然ばかり長くなつては、と、一先づ此の邊で切り上げて、餘は次號と云ふことに致して置きます。御退屈さま

本愛國講座欄内には近日より

美術講話

女子美術學校
早稻田大學講師　紀淑雄

と云ふ有益なる講話を掲げます

一口噺

川に落ちたる子に向ひ

母親「足下を見て歩るかぬからだ」と云へば

子供「でも、學校の先生は、足下を見ないで、向ふを……」と仰有るものを!!

(廣島　金原なほ子)

△はな

子供「お母様。彼のお客様のハナ(鼻)はバナよ

母「何故?

子供「でも、鼻の先きに黒い痣が二つありますから!!

(鹿兒島　[illegible]　節子)

◁今年の暦▷

四月(小)
April.

日S	..	5	12	19	26	..
月M	..	6	13	20	27	..
火T	..	7	14	21	28	..
水W	1	8	15	22	29	..
木T	2	9	16	23	30	..
金F	3	10	17	24	..	..
土S	4	11	18	25	..	..

西洋談叢

原篠川

人間の荷物

一千百四十年の事、コンラッド三世が、ヱルフ公爵をヴインスベルヒ市の居城に包圍せられたとき、市民は非常に勇敢に抵抗したので、皇帝の逆鱗甚しく、必ず此の市を攻め落し、市民を屠り盡さう、と思召された、て、夜を日に次いでの攻撃に、市民も流石に堪へ切れず、とう〳〵、開城すること丶なッたが、城中の婦人等は、皇帝に、其の背に擔ひ得るものだけを、持ッて行きたいと嘆願した、皇帝も之を御許しになる、と、約束の期日になッて、ゾロリ〳〵、長い列を作り、城門を推し開いて出て來た婦人等を見れば、之れはまた無い圖てある、彼等は銘銘に其の夫を背負ひ、而も、先頭には皇帝の當の御敵である、ヱルフ公爵が、夫人に負はれて居る、之れを見た皇帝方の者等は、人間の荷物、といふ意ではなかつたから、默許すまいと息卷いたが、皇帝は微笑を遊しながら、綸言汗の如し、約束は違變すべからず、と仰せになり、御見逃しになッたので、危うく男子等は其の命を拾うた。

熊の智慧

或人が子熊を飼うて、餌の加減や鞭の力で、丁度、狗の兒の樣に手馴らすと、熊も主人の爲に、色々の用を足すやうになつた、所が或夏の日のこと、主人が草村に寢込んで、仕舞ふと、熊は其の側に座ッて張番をし、飛び來る蠅の群を、追うて居たが、就中、シッコイ奴が一疋居る、前後、十度斗も追ひ退けたけれど、相變らず、舞ひもどッて、又しても主人の寢顔に止る、之を見た熊は、怒りをなし、「待て〳〵、もう、來られぬやうにしてやるぞ」と、叫び乍ら、大きな石を取り上げて、狙ひ濟まして、投げつけた、すると、蠅は粉な微塵になッたが云ふ迄もなく此蠅と共に、哀むべし、飼主の頭も碎かれて仕舞ッた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國心

伊太利 フォガッツァロ原著

第一章(一)

湖面には寒い北風が吹き荒れて、暗い山の嶺に掩ひかぶさつて居る暗雲を、今か吹き拂ふとしも思はれる。實際、波索地斯が亞留母我志保、秀遏理翁から廻り來り加佐理口まで達した時分には、未だ雨降り初めぬのであつた。湖畔に打ち寄する浪は鞺鞳の響を爲し澎湃として其處彼處に立ち上り、舞ひ下る泡沫の浪の花は戸井の彼方まで打ち寄するかとばかり……。が、湖水の一端西の方が微明くなつて來たのは、頓て天候の靜穩に歸し北風の吹き止むを告ぐるぞと覺しく、陰欝なる加府利野山には小雨降り初むぞと見られた。

巴索人は黒の外套を身に纒ひ、山高帽子を頭上に戴き、手には太き竹の笻を握りつゝ、湖畔に添ふて右見、左見、不安然に歩むかとすれば、時には直と立ち止り、大地を笻にて打ち敲き、未だ近附き來ぬ渡守を呼ばふとするかにも見らるゝのであつた。

紅い座蒲團、紅白の雨餘附きの坐席と備へた渡船が船脚遲い二艘の石灰艀の間を縫ひつゝ、打ち寄する浪のむた漂ひ來るのが認められた。

『濱!』と、巴索人は聲荒かに呼ばはり、更に聲高に『濱!』と重ねて呼ばはつた。が、誰だ應ふるは、海岸にとゞろ〳〵と打ち寄する浪の音と、岸に繋げる艀と艀との交互に打ち合ふ物音のみ。かゝる刹那、何人も此の加佐理口の町を擧りても、一匹の生ける犬すら住めりとは得云へぬことであらう。が、恰も肚言術者の嗄れた假聲のやうな細い老けた聲の『寧そ歩いた方が……?』とばかり玄關の下から唸き出るのであつた。

結局、濱は棧、麻米登の方面に現はれた。

『車、急いだ!』雙手を高く、空ざまに打振りつゝ、巴索人は叫んだ。現はれたる人は直走りに走り初めた。

『畜生!』巴索人は叫んだ。『犬と綽名を附けられたのは當然だぞ。』

『巴索人さん、寧そ歩いた方が……?え、歩きましやうよー』と細い聲のが唸き出てた。

巴索人は忙はしげに艀の纜を手繰りつゝ、今や岸に繫がうと焦つて居る渡守を切りに口穢く云ひ罵り續けるのであつた

ロレアの少女

『巴索人さん、歩くとに致ましやう』と、今一度、細い聲は唸くのであつた。が間も無く彼は威勝を帶びて、玄關の方へと振向き、何人か出來らんとする氣勢ある方へと、その體を移すのであつた。

巴索人は肩打聳かし、强てもの樣子を示しながら、艀の方へと歩み行いた。

その時、彼の玄關の拱闕の一個の下から、一人の老婦人が現はれた。その縁削き五體は肩掛に包まれ、その下からは、黒色絹の裄が微見ゆるのであつた。その頭上には細長き、小形の黄薔薇の花と黒レースとにて飾られた流行のらしき女帽を戴いて居る。二條の黑き鬢毛は皺びんる顏面を覆ひ、雙は眼大にして柔和に、大やかなる口は薄き口髭にて限取らるゝのであつた。

世界の婦人

露西亞婦人氣質

昇曙夢

露西亞婦人と申しましても、あゝ云ふ階級の厳しい國柄では其階級々々に從つて婦人の氣質も幾分か違ひますが、然し茲では露國婦人全體を通じて認められるやうな性質や嗜好に就て御話申しませう。

先づ概して露國婦人の氣風は非實際的と申して差支ありません、彼等は一體に放縦で、不精で、空想的で、萬事に遣りッ放しと云ふ風が見へます。ですから露國婦人は家庭の主婦としては、最も不適當な性質を持つて居ます。實際彼等は家庭の事には餘り頓着しません。子女の教育なども保母の一手に任して自分は少しも顧みないてす。彼等は家庭的の獨逸婦人を見ると『あ、是れは獨逸女』かと言ッた調子て動もすれば輕蔑する傾向さへあります。

次に露國婦人は非常に感情的で、神經質で、何事にも熱中し易い傾向があります。殊に社會的の事となると熱し易いです。例へば社會運動や革命運動の先驅となつて騒いで居る者は普通男子でなく婦人てす。彼等が一旦此方面に熱中すると、着物を引剝れやうが、裸體にされやうが決して手を引かない、殆んど半狂亂になつて騒いてます。或は隱謀の執行者と爲り、或は殺害の下手人となつて隨分殘酷な罪悪も犯し兼ねまじきは露國婦人てす。此の意味から申せば、家庭の主婦としては落第して居る露國婦人も、社會的には隨分成効して居る名婦も居ります。革命黨、文學者、新聞記者等に婦人の多いのは別に珍らしい事てはありません。

露國婦人は既に感情的てありますから、從つて其の行ひには矛盾が多いてす。例へば露國婦人が其の良夫に對する愛情は非常に痛切なもので、從つて露國婦人の悋氣と言つたら世界に有名なものですが、是れと同時に彼等は一方に於て密夫を擁へることを何とも思つて居ません。却つて密夫の多いのを誇りとして居る位て、殊に貴婦人に此の傾向が多いてす。之に反して處女の貞操と云ふことは非常に嚴重なもので、何所でも露國位ひ處女の純潔を貴んで居る所は無いと言はれて居ます。例へば青年男女が打連れて旅行すると云ふ事は能く露西亞で行はれて居る風習てすが、其旅行が如何程長くつても決して其間に間違つた事がないと云ふ事てす。社會でも亦之を認めて居ますから、青年男女の交際に決して制裁を加へると云ふやうな事はありません。

餘り惡口が出るやうてすが、露國婦人は勝氣に富んで居まして、意地ッ張て、往々男子を見くびるやうな擧動が見へます。早い話が汽車に乘つて居る時です。何か用があつても自分はぢッと構へ込んて居て、傍に居る男が面識てあらうが無からうが直接之に命を傳へて用を達して貰うと言つた風て、動もすれば男子を眼下に見る傾向があります。

虛榮心は何れの婦人にも免かれない通有性てせうが、就中露國婦人には之が甚だしいてす。彼等は普通の收入ては到底虛榮心を滿足させるに足りないと云ふので、態々之が爲に淫賣婦や娼妓となる者が多いてす。之は尤も露國の社會組織から來る弊害でもありませうが、兎に角露國に此類の醜業婦の多いのは半ば其の虛榮心の爲めてす。

次に露國婦人の嗜好てすが、彼等が音樂、舞踏、演劇等に對する趣味の深いことは恐らく何所の婦人も及ばない位て、殆んど狂的てす。露國婦人が二三人ても集まると乾度其所に音樂があり、舞踏があり、芝居が始まると言つた風て、家庭でも時時音樂會や舞踏會の催ほしが、絕えません。又夏の頃になりますと日本の盆踊のやうに、重に下流社會の婦人や良家の下女などが言ひ合はしたやうに廣場や野原に集まつて來て、樂隊に舞曲を演奏させながら之に調子を合せて盛んに舞踏して居るのを見ます。現に子持の婦人でも、子供は五錢か十錢かて子守に預けて自分は一日中外で浮かれて居ると云ふ有樣です。それて音樂、舞踏、演劇の方面では露國婦人の中に有名な天才も澤山現はれて居ますが、其代り手藝と來ては全るでゼロてす。今一ツ露國婦人は外國語に非常な趣味を持ッて居ます。希臘羅甸を初め、獨佛語は自由て、近頃は英語まで彼等の間に流行つて居ます。是は尤も少年時代からの教育も大に與て力あるとて、子供のある家庭では大抵獨逸や佛國から家庭教師を聘して少年時代から語學を仕込み、希臘羅甸は小學校の課目にも入ッて居ります。

最後に露國婦人の交際振てすが、露國婦人は元來親切で、愛嬌があつて、お客好きな上に快活て陽氣と來て居ますから、交際上の資格は大抵彼等の天性に備はつて居ります。隨つて其の社交術も頗る洗練されたものて、殊に令孃方が交際場裏の中心となつて居るやうです。例へば四五人の子女を持つて居る家庭からお客に呼ばれて行きますと、先づ接待に出る者は大抵其家の令孃で、男子は隅の方に少さくなつて居ります。座に着いても興味の中心は矢張令孃て、初めからお仕舞まで一人て座を持切ッて賑はして居ます。又婦人同士時々集まることがありますが、何か家政向の事てもすかと思ふと然うてはありません。其時の話題は大抵社會の事か、て無ければ新らしい作物の批評かて、露國婦人の文藝論と來ては大概の男子も寄り付けないてす。

△次號には佛蘭西婦人氣質を掲載す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新歸朝者の見たる日本婦人

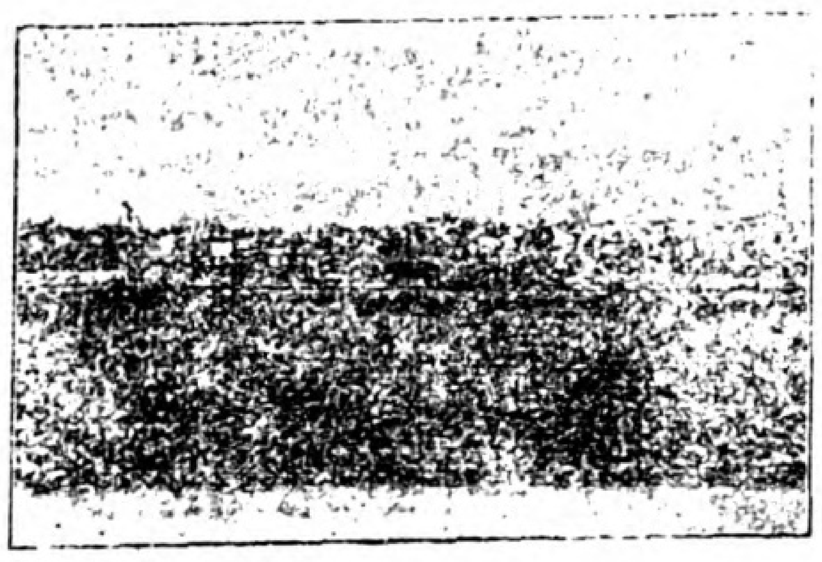
下

末摘花

一般に平民的だと云ふ例を、一つ申せば自分が、或朝散歩して居ると、青物市場の前に立派な馬車が、止つて居りました。好奇心に驅られて、一寸窺くとこは如何に。大統領が夫人と共に、彼れや此れやと野菜を擇りながら買つて居るではありませんか。

大統領の青物買ひ

暫くして野菜を馬車にはこんで、自ら馬に鞭つて歸られましたが、苟しくもアルゼンチンの大統領とも云はるるものが、餘り輕卒な振舞ひと呆れながら見て居ましたが、土地の人々は平氣です。珍らしい事とも思はぬのでしたら。



ブオノザエレス全景

アルゼンチンの事は此位にして置て、これから歐羅巴の婦人に就て、御話を續けませう。勿論斷片的に過ぎませんが、

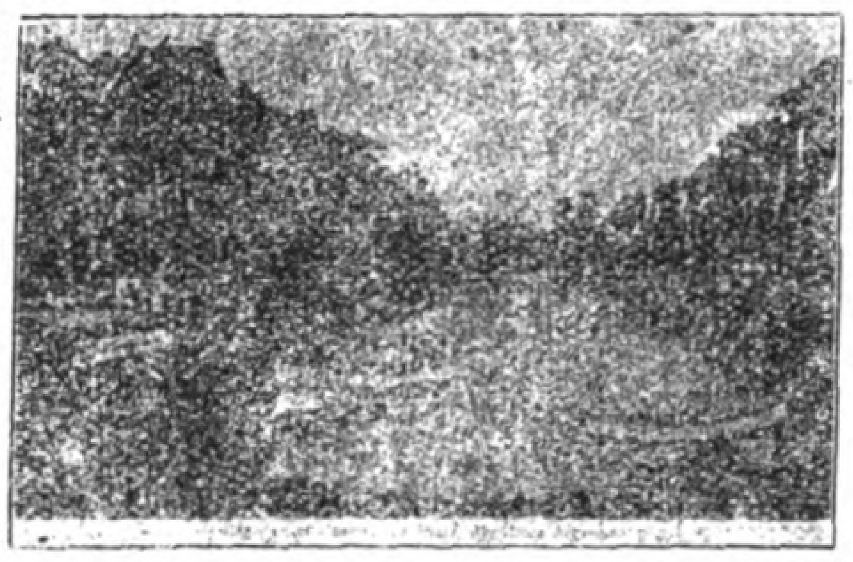
歐米社會には表裏あり

概括して云ふと、日本の家庭若くは社會には比較的表裏が尠ない。之に反して歐米の家庭又は社會の表面と裏面とは、極めて差異がある。ですから一寸見ると歐米社會は立派に見えるのであります。然しこの表面の華美なのに醉つてしまつて、裏面に慘憺たる暗黑界のあるのを、見遁してしまつて一にも二にも西洋を擔ぐのは、賞めた所爲では御座いません。自分などは日本の澹泊な家庭若くは社會の方が好いと思つて居る。無論日本とて改むべき點又は學ぶ點は澤山ありますが、建國以來の習慣は、何處までも保持して行かねばならぬと存じます。從來歐米の話をする人は多く、彼方の美所のみを擧げるから、私は少し缺點の方も申して、日本婦人の美所を述べやうと思ふので御座います。

日本の方が良いと思ふ

佛國人一家族の例

婦人に就て殊に痛切に感ずるのは、自分が嘗て船中で一緒になつた佛國人の一家族がありましたが、細君が船暈に惱んで居るのを、亭主が親切に看護するので御座います。飯時になると妻君の注文通りにコックに命ずる。持つて來る。妻君の氣に入らぬ。亭主が皿を以て甲板を走けづり廻る。それも宜う御座いますが夕方になると、病人だつた細君は起出て元氣に歌つたり、跳ねたり、樂器をならしたりするのを、亭主は子供を抱いてボンヤリ見て居るのです。その圖と云ふものはありません。



ブオノザエレス郊外の公園

日本婦人が文明的

斯んな處は公平に批判して日本婦人の方が遙かに文明的だと存じます。當時はどうかすると、此樣な西洋カブレのした家庭が、日本にも時々ある樣ですが、甚だ感服の出來ぬ事で御座います。

歐米人はお世辭が上手

次には御世辭の話を致しますが、日本は隨分支那の影響を受けて居るので、御世辭が發達して、中には馬鹿々々しい樣な、浮薄な、歯の浮く空詞もあつて遂には「先生と云はるゝ程の馬鹿でなし。」など云ふ諷刺詩もある位ですが、とても比較にならぬほど、歐米の御世辭は進歩して居ります。寧ろ邪路に陷つた御世辭とも云ふべきでせう。

日本と歐米と反對な點

自分が最初困つたのは、婦人に初對面の時です。相手の婦人はきつと「貴方は御結婚なさいましたか。」と尋ねます。それて此方は「ハイ結婚致しました。」と答へる「左樣ですか。さぞ御美しいて御座いませう」と來る。その時です。日本なら「イヤもう何う致しまして、お多福で氣のきかぬ婆で御座います」と云ふのが普通ですが、そんなことを、あちらで申したら大變です。婦人を侮辱したと云ふので大變なことになります。其時はどうしても「ハイ有難う御座います。仰の通り誠に美しい優しい妻で御座います。」と答へるのが禮儀なんです。それが我々日本人には馬鹿々々しくて、とても云へるものでは御座いません。

アルゼンチン農家の安息日

日本人には馬鹿々々し

斯く表は何處までも左樣しますから一寸見た處では、極めて文明流で御婦人方などは直ぐに歐米が好きになるかも知れませんが、それは單に表面だけの話で御座いまして、一歩その裏面に立入るとその慘憺たる暗黑界の有樣は、想像することが出來ない位です。其を一一申すと餘り長くなりますから、此位に致して置ますが、歐米の婦人とて、さう傑いものではありませんと云ふ事が、御判りになれば宜しいのです。

裏面は慘憺たる暗黑界

勿論學問の素養等も日本婦人よりは、造詣が深いから傑出した婦人も仲々澤山ありますが、日本婦人にだつて隨分傑出した人も從來あるし、又今後も陸續として輩出する傾向も見えますから何卒日本婦人は矢張り日本婦人の在來の良習とも云ふべき溫良貞淑を以て勉められむことを希望するので御座います。

東京の女學校

相良崇陽

私立東洋高等女學校

小石川區丸山町十二番地にある私立東洋高等女學校は、校長文學博士村上專精氏の經營監督に係り、和田村上兩文學士以下各講師によりて、女子に高等普通教育を授くる處である、茲に少しく其内容を紹介せん。

籍を宗教界におきて識德共に高かりし博士村上氏が事に因りて再び還俗されしは何人もよく承知するところであらうが、氏は久しき以前より現今の女子教育に就て飽足らざる思ひをなしてゐられたので、氏獨特の理想的女學校の設立は他年の宿志であつたらしい、而して幸ひ和田文學士等の協贊するありて、茲に初めて其理想の一端は私立東洋女學校として生れ出たのである。蓋し物質的文明の濁流に醞られて、精神教育の等閑に附せらるゝ現今の女子教育法を憾みとして、此企は成立したのである。されば東洋女學校の精神は偏に女子の精神教育を主とし、加ふるに處世に適當なる實學を授けんと試みたものである。さて彼等の精神的教育の方針としては、必然的に氏等の思想を調ふる佛教主義が其骨髓をなすに至るのはやむを得ないことであらう、實に東洋女學校は佛教主義に由りて婦女を精神的に教育せんとする方針を取つたのである。かゝる主義の下に行はるゝ教育は、乃ち華奢輕薄なる習俗を排するのであつて、眞摯着實なる婦女を養成するを主眼とするのである、實科教育に偏して道德觀念の發達を妨ぐるを慨くのであつて、專らに精神堅固なる德操ある婦人を養はんとつとめたのである、要するに東洋女學校は佛教主義によりて婦女の精神教育を完からしめんが爲めに生れ出てたのであつた。如斯目的を以て生れたる同校は、日に月に進歩推移して窮りなき時運を考察し、時勢に適合する婦人を養成せんが爲めには勢ひ幾分か從來の教育方針を變更せねばならぬ必要を感ずるに至つたのである、昨秋九月文部省の認可を得て、私立東洋高等女學校と改稱して其教式や校則に多少の變化をなしたのは、蓋し之れが爲めであらう。されば今日の同校は創立當時のそれとは多少の發達變化あるは免れない事である。乃ち校の教育方針に反せざる限りは社會の狀態を觀察し、父兄の希望をも容れ且又教育者の將來を思ひて、時勢に伴ふ婦人を養成せんとするの方針を取つたのである。如上の目的を有する同校の現狀は如何であらうか、漸く第二回の卒業生を出さんとする同校に就て直ちに麗々しき精華を望み、光輝ある校風の確立を强ゆるが如きは、無理極まる事と信ずれば、今は暫く同校の發展を祈りつゝ茲には少しく感ずる點を擧げて見やう。

位置の偏在せるは生徒を吸收する點に於ては少からぬ不便を感ずべきも教養上に於ては、却て繁昌なる街巷に優るは言はずもがな殊に同校の如き眞摯實直を生命とする學校に取りては却て適當の位置といふべしてある。八個の教室を有する總二階木造の校舍は華麗を以て驕りとするには足らないが、校舍としては決して不完全な構造ではない。其他の設備寨より十分なりとは言ひ難きも、敢て是れが爲めに不便を感ずるといふ程でもない、特に生徒用の腰掛や、机等の如き、其體軀に應じて適度の排列をなしたるが如きは、些かなる事の如きも、意を體育の上に用ゐる實證として注意すべき點で有らう。要するに創立後日尚淺きことなれば未だ以て著しき美風特徵として數ふるに足る可きものは多くはないであらうが、されどな該校の發展は資たる可き善良なる萠芽の存在を認め得ないでもない。今其二三に就て記して見やう。其一とも見る可きは校長村上氏以下教職員の協同一致專らに教養の任に當ることである、氏等は殆んど物質的慾望を外にして殆んど獻身的に生徒の教導に任じてゐられる狀態である、その熱心なるその同情深き教導は必らずや生徒の信用と尊親の情を喚起してやがて美はしき校風を造るに至るは明かなることであると思はれる。二には同校の教育方針の實質なる事である、世の一般の女學校が漸やく輕浮に流るゝに反して同校の取れる方針と方法とは實に勤直である、或場合に於ては幾分か保守に傾き嚴正に失するやうな觀を呈することもあるじやと思はるゝ節なきにしもあらざれども、かくてこそやうやく其目的とする眞實にて實際的なる而も堅實なる婦人を得るに至るのである、同校は決して他に見るやうな外見の美を衒ひ、虛飾を事とするやうな事はない、例へば、生徒の會合や集會の席に於て殆んど他校には缺くべからずとなせる演奏や活人畵の如きを禁じたるが如きは如何にも固陋に失するやうな感をなす人もあらうが、心より處女の將來を思へば、此等の禁制は眞面目なる人士によりては、いたく贊成せらるゝことであらうと思はるゝ。要するに輕薄なる現今女子教育の反動とし且つは時勢の趨運に伴ふて、社會は必ずや眞面目なる婦人の産出を慾求するやうになるに相違ない、而して同校の教育方針に於て變化せざる限りは、此等の慾求を滿たすに必ず十分なる結果を與ふるであらう。吾人は切に該校の教師生徒諸子に望むに、其の朴素なる淳樸にして同情ある校風を永久に保持發展されたき事を以てしたい。形式の整ふるに從ひて精神的に破滅し行くは世上往々其實例を見る處、吾人は重ねて當事者の細心注意を願ひ、光彩ある校風を保ちて女子教育の本義を實現せられんことを祈る次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

美人中最も高尚にして
素顔の美しきを以て有名なる
東京婦人は益々クラブ洗
粉を愛用せられつゝあり

若し歐米人が斯く問はば
英國美人よりも日本婦人の總てが素
顔の美しきは何故かと問ふ事ありとせば
其は日本に於て有名なるクラブ洗
粉が舶來石鹼より優れるが故なりと答
ふ可き價値あらん

素顔の
美しき
東京婦人
は擧てク
ラブ洗粉
を愛用せられつ
つあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

—春季雑題—

佐々木信綱大人選

天　東京　飯塚清子
小山田のくろのほそみち春ゆけばすゝなかをりて胡蝶とびかふ
評。やさしくうつくしき歌

地　青森　留目文子
側に猫もねむりぬ春の日に媼糸繰る日當りの椽
評。野趣ありておもしろし

人　岩代　長谷川よしの
むつき干す藁家の軒の梅か枝に小鳥來てなく摘草日和
評。子どもらの遊ぶらむ樣も見ゆるやうにて

秀逸

葉成りて歸る故郷の雪消道春日うら〳〵かけらふもゆる　岩代　長谷川よしの子
男ましき君かかとてを偲ぶ夜の月に散りくるやま櫻かな　石川　小坂夏子
月高くいさら小川の水の上にうつりて長しあを柳のいと　三河　磯貝くら子
宵月のまとへにひとり文かけは紫陽草こみち笛の音そする　香川　瀬高やす子
よはなべて花のさかりとなりにけり月もさくらの色にかすみて　山城　古川よれ子
いとゝしく春雨そゝく花陰になきもをしまぬうくひすのこゑ　甲府　名取正代子
蝶はまひ雲雀さへつる山里の畑の菜の花いまさかりなり　青森　大橋のぶ子
春の色はまたあさけれと青柳の枝にかゝれる月そかすめる　東京　林　喜久
春風も心してふけ櫻木のたゝひともとのはなのさかりは　福岡　松野操子
むらさきのゆかりのいろのゆかしさにつみしすみれを誰にやらまし　東京　飯塚清子
櫻かりかへる山路に日はくれて雨もふりきぬ月はかくれて　鹿兒島　藤野錠子
さくら花今をさかりと咲くものをあな心なの今日のあらしや　岡山　西村清子
池の面をあそへるこひにふをやりしをとめの袖に梅そ散りける　山形　阿部さゐ子
ふく風になびく柳の影みれは鴨川堤なつかしきかな　京都　中川たか子

甲

霞もわかこと花や尋ぬらん別け入る山のこゝやかしこに　岡山　清水梅子
櫻かりあすとさためてかへりゆく友をみおくるおほろ夜の門　福島　爲田よしの
白梅の雫の香り疊にこめて御名かきて見つはるさめのまと　東京　西川鎌子
佐保姫の春の使かわか園にあたりはなれす蝶そあそへる　越中　永井千代子
とひきては飛さる蝶をうなゐ子かおひつゝあそふ春の野邊かな　靜岡　彦坂清子
折々は柴の戸たゝく友もかな櫻はさきて桃も匂へり　山形　阿部さゐ子
大江山みねのしらゆきむらきえてかすみたなひくはるの夕くれ　丹後　富田眞壽
畑打つ賤の少女か友となりてひねもす空にひはりさへつる　越後　阿部秀子
ゆふけたくとまやの烟り末なひきみそらにかすむ春の夜の月　遠江　萩原ふみえ
里の子か手ことにをれるはつわらひ夕けのむしろにきはひぬらん　長野　高橋清子
朝またきしめやかにふる春雨にふしおもしろくうくひすのなく　京都　安久春子

乙

心あらはつけよ鶯ふるさとのゆかしき梅の花のたよりを　神奈川　足立原政子
花の月を誰か聞きけん思はすも夜半にさし込む月を見るかな　大分　桂木清閑女
有明の月の霞みて殘れるも暮れゆく春の形見なるかな　三重　西山數子
打よする波を浴つゝ生立し磯の小松のいろふかくして　東京　松田重子
たつさへて妹とたのしく花見せん病いえし叔母を祝ひかてらに　本所　中山由子
榮えゆく御代のみ光り春ことにさきそふ花の色にみえける　遠江　萩原さだ子
花かけにひと夜やとかるかことにもなりて嬉しきけふの春雨　京都　花輪よしの
見てもなほあかさりけりな梅の花をりてかさせるひともありけり　堺市　全田久子
七重八重咲きたわみたる山吹に三つ四つ二つ蝶のあそへる　三河　山內經子
此處彼處咲きて茂れる嵐山の櫻の花はいまさかりなり　岡山　阪田元子
世のちりをあらひすてたる春雨になかめましぬる山櫻かな　京都　津田君子
かられこのれふるかたへに深見草さかり久しくにほひぬるかな　三重　西山ひさゑ

むらさきの色香ゆかしき花の世に薫りこめたる春風そふく　神奈川　足立原とく子
汐けふり空にかすめるおほろ夜をうらかなしくも歸る雁かな　紀伊　中橋たま子
幼子にいさといはれて今日もまた菫咲く野に遊ひくらしつ　東京　土師利根子
咲く花を見捨てかへるかりかれのつはさもかすむ春の明ほの　三重　荘司種子
羊追ふさとの童のすさひから降る春雨に笛の音そする　越後　歌川みちの
櫻花見つゝ木かけに坐をしめて友とゆくすゑ語るたのしさ　岡山　西村長子
北山の木陰は未た寒けれととくる氷に春はみえけり　愛知　下郷すゑの
月おほろ梅さくとしもしらすしてわれはとひつるうはかいほりに　福岡　松野　操
なかめふりてすてし少女か花かこにつれなくそゝく春の雨かな　府下　清岡忍子
なつなさく細道わけて友とへは目白にゑをはやりてゐましぬ　廣島　金原なを子
梅ちりしその夕よりうらやふになくうくひすのこゑをきくかな　廣島　金原なを子
春ことに幾多の袖や染ぬらんしつくにぬるゝ花の下かけ　青森　大橋信子
咲きつゝく花の木立のはてもなくおほろににほふ春の夜の月　豐橋　平松いと子
すみれつみ蝶追ふ野邊の少女子のさけ髮なふる春の朝風　函館　安藤喜美子
鳥の音も花のかをりももれぬまて長閑にかすむ春の山里　青森　大橋八佐子
ほの〳〵と明けゆく野へのしつか家に立てる烟は柳なりけり　三河　立岩きく子
さくらさく吉野の里の川水に若鮎を汲む人もありけり　愛知　猪谷しづゑ
峠路を下りていこふ山もとの賤か軒端に梅かをるなり　山口　末田竹子
きのふけふ笑ひ初めたるちご櫻よへの小雨にちりそめにけり　岡山　山崎露子
てふはまひ鳥はうたひてすゝなさく田舍の春そのとかなりける　三重　諸戸つれ子
高殿のうたけのさやき靜まりて櫻に宿る月おほろなり　府下　小宮とめ子
月おちてきゝすなくなりあしひきの山さくら戸の春のあけほの　岡山　西村清子
いにしへのはるの錦やいかならん花のみやこの櫻さくとき　三重　中島千万
路もなき若草もえし春の野を旅の詩人ひとりゆくなる　函館　前田武子
つれ〳〵の梅見もとりと忍はるゝゆきかふ袖に匂ふ梅か香　岡山　上田計意

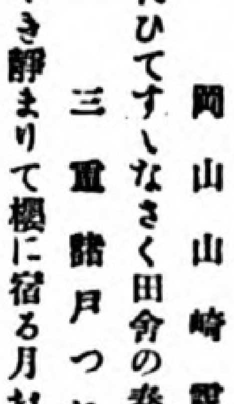
今日こそは梅さかりなり鶯のあはれ我世としたりかほなる　山城　古川米子
待花にめくみの露とおもほえはふる春雨もうれしかりけり　三重　小島駒子
年數も幹のふゝひにみゆる盆鉢に植たるうめのひともと　愛知　下郷すゑの
柴人か來道のかきわらひ手ことに折て家つとにせん　愛知　下郷きみ
おもふとち春の寒さに更ろまて火鉢かこみて歌かたりせり　京都　山本千代子
春姫のまひの衣のきぬすれにはるのすみれもよみかへりけり　靜岡　安永みち子
みとりこき麥生につゝく一村の桃は今しもさかりなりけり　山口　末田貞節子
ときはなる松にましりてさく花のいつまて匂ふこゝちこそすれ　橫濱　鈴木まつ子
山里も花の盛となりしより都にまさる酒の香そする　日向　小林芳子
梅の花ところえかほにさきにけりうき世のちりのたゝぬ山中　三河　石川類子
うくひすの聲もかすみて山もとの花おほろなるけふの雨かな　岡山　河原春子
いさり船のかけたに見えぬ春の海にかすみをもるゝ船歌のこゑ　東京　清岡忍子
何にとなくうれしかりけり麥の間に都の友とすゝなつみしを　青森　大橋玉子
わか園にけふ咲き出てし花菫ふみにいれても友におくらん　京都　渡邊豐子
かりそめにむすひし草の下庵に梅か香かよふ春は來にけり　北海道　河內りつ子
五とせを露に螢に學ひ得て今日業卒えてかへるうれしさ　岡山　八木清子
こちふきて靡きよせけむ青やきの下にたゝすむたをやめやたれ　岡山　西村長子
いけのもに長くたれたる糸やなき水にうつりてそこ深く見ゆ　呉市　竹入勇子
けふもまたをさなき子らにひかされてもゆる春野を夕月の空　三重　荘司みやこ

第八十回懸賞募集廣告

▲和歌　春季雑題　大口鯛二大人選評
▽俳句　春季雑題　內藤鳴雪大人選評
▲新體詩　題隨意　編輯局同人選評
▽短文（十行以內）題隨意　編輯局同人選評
▲懸賞賞品
▽一等　四名　總裁宮殿下御染筆、一葉
▲二等　五名　主婦の職分　一冊
▽三等　五名　扇子　一本
▲其他交換繪端書五葉乃至十葉を副ふ、
▽地方特殊の料理法
▲一口噺
▽讀者欄
寄稿を歡迎す。
▲其他
▽閨秀百佳選、梅か櫻か等詳細は本誌に就て見られよ。

登錄商標

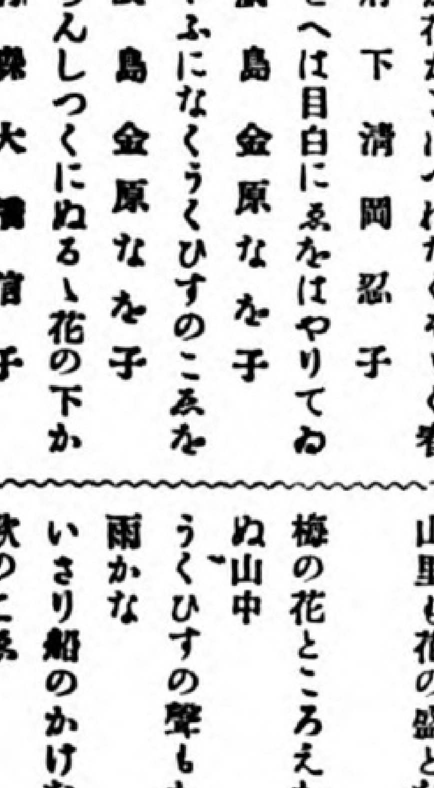
Crème Simon



皮膚の營養上衞生美顏　容貌の美のために特に調製する良劑「シモン、グリスリン、クリーム」

「シモン、グリーム」は近頃の製造品ではありません久しき以前より御使用と御評判を受けて居るのであります

「シモン、クリーム」は一種の强壯劑と皮膚を柔かくする藥劑とを配合して製造したる衞生上無比の良品であります



「シモン、クリーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ〳〵となり又天鵞絨の如く艶麗ならしめ又快よき香氣を發します毎日御化粧の時に御使用になれば何時でもつやつやしき容貌を保たれます

「シモン、クリーム」はヒヾ、アレ、日ヤケ、汗も、ニキビ、唇のわれ、霜やけ、赤ら顏、又は毒虫に刺された時にお塗りになれば僅かに少時間で其効能が分ります又髯剃の後や小供衆に塗抹しますとすべ〳〵として大變氣持がよく、又美しくもなります

本品は販路が益々擴張さるゝに從ひて僞物が多く市場に出て居りますから御求の際は「シモン、クリーム」「粉をしろい」「石鹼」共特に登錄商標を御確めの上御購求願ます
東京及大阪の三越呉服店を始め各地の洋品店化粧品店に販賣致して居ります

日本代理店　橫濱七十番　エー、ハイム商會

隆文館書目

婦人と小兒　定價八十錢　郵稅八錢
粗食養生論　定價廿五錢　郵稅四錢
割烹新書　定價八拾錢　郵稅八錢
宗教講話　定價九十錢　郵稅八錢
哲學と人生　定價壹圓　郵稅八錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭醫者

乳房の病氣

大野病院副長醫學士　三原新太郎

乳嘴と乳輪との一番外界に接近致して居りまするとは、前回に申し述べた通りであります。でありまするから、隨て刺戟が多く其上非常に薄い表皮を以て蓋ふはれて居りますから、少しの刺戟で破損いたし、又剝離いたします。一旦裂創が起つたり剝離がありますと非常に痛痒を感じますのは、御承知でありましやう。この乳房といふものは大さう神經の鋭敏な所でありまして、其上血管があり淋巴管があり、組織がなかく複雜て、變化に富んで居る所でありますから、隨て疾病も多いやうな譯て、今申上げまする乳嘴の病氣の如きは極めて輕いものであります。殊にこの乳嘴に起る疾病といふものは、赤兒の時より却て大きくなつてから、即ち乳兒に乳を飮ませる時特に乳兒に齒が生る時、又生へかゝつて居るといふ時に一番多いやうて、小兒に齒が生へる時は、痒いものてすから、無暗に乳首を噛むので、その噛み傷から又他の傷やらが出來るのであります。

若し傷が出來ましたならば、アルコール又はグリセリンを塗つて清潔にして始終二プロセントの硼酸水か鉛糖水又〇・五プロセントの醋酸礬土水て洗滌してそれても傷が大きかつたり尙ほ癒らなかつたら收斂劑の入つた軟汞。例ば、十プロノ「キセロフオルム」軟膏。痛を止めるには矢張「アネステシン」軟膏の十プロセントのものを用ゐる。さう云ふものを貼つて置きますと大概の傷は癒る。けれ共裂創が深くてなかく癒らなければ其時は醫者の所へ行つて棒硝酸銀を貰ふて來て其を付けるのてある。次は小兒の方てありますが、全然乳を飮ませないといふ譯には行きませぬから、乳を飮ませない時今申上げたやうにして併成るべく健康體の方の乳て以つて飮ませるのが肝要てあります。

次に來るのが乳房の外皮に來るので即ち濕疹であります。ところでこの乳輪及び乳嘴の濕疹となりまするとなかく頑固なもので、少し清潔にしませんと、直ぐこのものが出來ます。さうして之を其儘放つて置きますと糜爛性濕疹といふものになりまして全乳房の皮膚が悉く侵されるといふことがあります。御承知の通りさう云ふ風に爛れまするると、分泌液を盛に出しますから、それが乾きまするると痂皮が出來ますから、先づその痂皮を取去るには、オリーブ油或は單軟膏を塗布して置きますとれますから、其次に少し痛いけれど、十プロセントのザルチール酸アルコールを付けるか或は「キセロホルム」末とか、「デルマトール」末などを散布しますと乾すのに宜しいのであります。又少し價段が高いが、十プロセントの「ツメノールウキルソン」軟膏を用ゐても宜いのであります。殊に恐るべきことは長く濕疹が存在して居りますとそれが長い間に遂に癌腫に變化することがあります其故は癌腫が出來るのに適當なる媒介となるのてありますから早く癒さなければなりません。併このやうなことて癌腫の出來ることはありますけれ共まづ元は極く稀に出來るもので高年の人になりまするると、心配なのであります。此事は後に申上ます、不思議なことには、乳嘴に出來ます癌は男子が多くて婦人は極く稀れてあります。次は乳房の炎症を申します。

前に色々申し上げました藥品は、大抵通常藥てすから、素人の方にてもお手に入りますが、中には醫者の處法がなければならぬのもあります。てすから御懇意のお醫者様からお貰ひになりましたなら好いのてしやう。

社告

奥村五百子詳傳　一部金五十錢　税金四錢

兼て豫約募集中なりし、故奥村刀自傳記は愈々今般冊成を告げ、目下夫々購讀者に配付中なり抑々本會の首唱者たる奥村刀自の傳記は、明治昭代に於ける日本婦人の活動的歷史なると同時に、一面は本會發達の歷史なり、先般來本會之が編纂に從事し今や漸く其冊成を見るに至りしものなり。本傳記は四百有餘頁の書冊にして其間に寫眞版を插み、文章を平易にし一般普及を旨とし、汎く姉妹に頒たんと勉めたるものなれば、此際可成速に陸續購讀方、本會又は當發行所へ申込れたし。尙本書よりして得たる多少の利益は、擧げて奥村刀自紀念碑建設の費用に供し度に付可成多數に購入ありたし。

醫院案內

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六九七番）
診察時間　自午前九時　至正十二時
內科婦人科　院主　岩佐純
內科　院長　ドクトル　岩佐新
（獨逸留學中）副院長　醫學士　高田壽
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

〇院長　ドクトル　木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇番）
婦人科產科　木村病院

◉婦人科專門　◉小兒科專門　午前宅診　午後往診
東京市麴町區飯田町四丁目九　女醫鷲山彌生

腦病脊髓病
●午前自宅　神田多町壹ノ八
●午後岩佐病院　日本橋區蠣殼町
神經衰弱、ヒステリー、中風癲癇　神經痛運動障害等
醫學博士　土田卯三郎

耳鼻咽喉病診察
淺草向柳原町一丁目二番地左衞門橋通り
中村醫院

內科專門
神田區駿河臺　電本一六六九　杏雲堂醫院
院長醫學博士　佐々木政吉

內科外科產科　婦人科耳鼻咽喉科　皮膚科梅毒泌尿器科　各專門分擔
芝愛宕町　東京病院　電話新橋（三六四　二六二〇）
院長　醫學博士　男爵　高木兼寛

水原產料婦人科病院
〇神田猿樂町十二番地　〇電話本局千八百九番　〇院內ニ產婆學校アリ

◉婦人病專門
芝明舟町十九虎門外宮樓前　電話新橋三三二四
院長　櫻井克己
櫻井醫院

齒科治療　ドクトル　齋藤清太郎
麴町有樂町帝國ホテル向（電本千五百十九）

耳鼻咽喉病診療　入院應需
淺草區向柳原町一丁目二番地左衞門橋通り
中村醫院

小兒病診療　宅診午前　往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士　內田愼太郎　●電話下谷七一八番

私立東京女醫學校
●五月一日新學年開始●入學試驗四月廿五日
●高等女學校卒業者無試驗
●規則郵券三錢●入學志望者は四月廿日迄に入學願書を東京麴町區飯田町四丁目九番地事務所又は牛込區市ヶ谷河田町六番地本校事務所へ提出す可し
前期生百名　後期生五十名　募集

內科一般
東京神田美土代町三丁目十九番地　午前宅診午後往診
板垣亨
電話本局貳千九百七十番

產科婦人科專門
診察毎日午前　入院隨時
淺草區左衞門河岸　電話下谷一〇二八
岩田病院

院長醫學士　鳥山南壽次郎
午前診察　午後往診
京橋區鎗屋町十一番地　電話新橋千七百四十六番
鳥山內科院

京橋區南大工町三　電話本局二四〇一
●（火木土）院長醫學博士岡田榮吉●
●（月水金）副院長醫學士久野正太郎●
岡田病院

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
內科病特に腦脊髓神經疾患
院長　ドクトル　メヂチーネ　峰秀世
峰內科醫院

午前宅診午後往診　入院隨時
淺草區下平右衞門町十七番地　柳橋通り（電下一三六五）
內山小兒科醫院

小兒科專門
瘰癧症（腺病）小兒貧血症、結核性腹膜炎、腹水、（脹滿、脾疳）小兒皮膚病、百日咳、
小兒ノ虛弱體質ハ前記ノ症ニ罹リ易ク動スレバ不治ニ陷ル余ハ獨逸留學中研究セシ體質强壯法ヲ以テ斯病ノ豫防及ヒ治療ヲ施ス
ドクトル　メヂチーネ　長井岩雄
東京日本橋區數寄屋町一、（電本百八十）

をりにふれて

中島千萬子

過し三月十三日の晨た、洋食の調理をまなばんと、兼て契れる友のまとゐにゆかまく欲りし、阿濃の川邊をたどりゆくほどに、春とはいへど、遠山に殘れる雪の風さむく、たえがたきまでおもふをりから、ふとあなたをうちみれば、細布ころも袖ひちて、小舟をうかべ、其かたへのあさ瀨にもすそかゝぐり、砂をすくひあげ、其砂を市にひさぎてなりはひとなせる賤の男ありけり、あないとをしの事にこそ、かゝるなりはひをして妻子をはごくむらんと、おもひまはせは、わらは友とまとゐてたのしみつる身は、いかなる幸ならん、四恩はいふもさらなり、我せこの賜にて嬉しくたふとき極にこそ、何をもて此かたじけなさにむくはむや、わらは幼なきふし、母なる人常に數へ給ひつるは、昔德川家康の君紙すきの業をしつるため、川水に其料をさらしつるを見せばやとて、奥のをみな多くつかはされ、川のほとりにあやしの棧敷をしつらひ、此處にて日ねもす見せ給ひつれば、川風の其さむきことといひしらず、見るのみさへもたえがたきに、斯る業を川の中になすならば、如何に寒けきことならんとて、德川の君いましめ給へつれば、數あるをみな痛く思ひあたりて、それより無益に紙を棄てざりしとかや。斯る古事を言ひ出し、濫りに紙を費すなかれとて、つねぐ\誡しめ給ひしことを、今目のあたり賤の男のわざに見くらべ。さまぐ\思ひ合せて、我が身をいましめ、此上なき幸なることゝ喜びぬ、隙間漏る風いと寒き賤が家に、あられ霙の降る夜さは、家族のまとゐ如何ならん、あはれ寒けき心地せられて、いたましく、そゞろやみがたき事にぞありける

流行の 櫛 簪 蒔繪 金 銀 寳石 細工 いろいろ 美髮用品

東京神田佐久間町一 電話下谷二〇七六番 ミツ井屋

支店 新橋… 神田神保町…

芳香の高尚と耐久は天下無敵也

商標 オペラ香水

外に大瓶一圓八十錢小瓶四十錢懐中瓶廿五錢

○報國の赤心を以て刻苦研究し外國品に優る香水香油の發明が出來て松方侯爵東郷大將伊東元帥高崎御歌所長各邸の名譽ある御愛用を忝うするに至りました

○寸刻も止むなき平和の戰爭に際し本園は國家の爲め飽まで奮鬪する覺悟に付第一に愛國婦人諸姉の名譽ある御引立を願ひたい爲めに特に一割引一送料無料にて御注文に應します

商標 オペラ香油

外に大瓶五十錢中瓶卅五錢

髮の色澤を增し發育を助け癖毛を直し芳香は清秀耐久にして粘り氣なく天下無類也

本舗 東京日本橋區米澤町一丁目一 鳳舞園 電話浪花四、〇三九番

婦人帽子 毛布膝掛 小兒帽子 敎育玩具 リボン造花

手袋 沓下 西洋小間物

東京牛込神樂坂下 朝日堂 電話番町一六九九

妾事薄毛にて種々藥を試しも効なく醫學博士令夫人より奇藥を得薄毛も濃くなり生へざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の體狀を愛け不思議のまゝ尙困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……

東京京橋越前堀一ノ四 河村愛子

最上醬油 キハク印

於聖路易博覽會 名譽大賞牌受領

醸造元 千葉縣野田町 茂木七郎右衛門 信號（キハク）又（ハ）

キハク印醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店 日本橋區小網町三丁目 中野長兵衛 電話浪花五七七四

大日本女學會

本會は小學卒業の女子にして進んで女學校に入學し難き事情ある者に講義錄に依り居ながら高等女學校の課程を自修せしむ◎本會の講義は第一流諸名家の擔當なれば女學校生徒及び女學校卒業者の參考書復習書としても極めて適當なり◎本會は伏見若宮妃殿下を總裁に戴き鍋島侯爵夫人會長として會務を統べ明治廿八年來着實に女子敎育の普及に努む◎會費は高等科一個月五拾錢普通科貳拾五錢會則希望者は葉書にて請求あれ

講義錄は各卷共用意あり

東京青山原宿二百十 大日本女學會 電話新橋千八百三十 振替口座一一八三六

THE GEM ゼム

衛生家必携 懐中良藥

愛の婦人

天の愛 土の愛 國の愛 母の愛

愛に生く日本の婦人こそ尊けれ

願くは躬親ら先づ愛し健かに

暖かに愛の道光もて世を看ませ

婦人こそ國の花

「ゼム」の玉少し宛

常日頃含まして

永遠に香ひませ

「ゼム」は頭痛逆上眩暈氣欝を治し舟車の醉を防ぎ、消化を好くして食慾を進め、音聲を美にし、氣分を快くす。殊に馥郁たる芳香人を喜ばしむるを以て、交際界の婦人に愛用せらる。

定價七十五粒入十錢百六十粒入廿錢四百卅粒五十錢九百粒入壹圓容器入廿錢

東京馬喰町二丁目 愛國堂 山崎榮三郎

大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會

當場の特色

あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣し市内は無償で配達致します

[illegible]

東京新橋角 帝國博品館 電話新橋一六二二・二六五二

日本一 大勸業場 東京名所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文

編輯局同人選評

一等

越後　阿部　秀子

オヤマアようこそ、さア何卒御上り遊ばして……。何日東京から御歸り遊ばして。あらさう、一昨日、左様で御座いましたか。學校もきつと優等で御卒業遊ばしたんでせう。ホヽ、御かくしなすつても駄目よ。御顏にちやんと書いてありますわ。さぞ御兩親様も御喜び遊ばしたでせう。東京も隨分變つたでせうね、私が歸りましてから、もう二年になりますもの、ね、東京の容子も種々伺ひたいし、久し振りですもの、今日は御ゆつくり、遊んで被入つて下さいね。

評。隨分お饒舌の方に候かな。

評曰。お土產の御話は如何被成候哉。

二等

福間見　岩代　長谷川よしの

南の方の障子をあけ放して、晝間習つて來た、琴の復習をして居ると、直下の垣根の邊りで、ガサコソと音をさせる者があるから、誰か櫻の枝でも折りに來たのではあるまいかと爪をはづして、椽へ出て見ると、鳥打帽を冠つた書生らしい人が三人、口々にチエストと叫びながら、さつさと往還の方へ行て仕舞た。

評し　趣雅と云ふべし。

三等

香川　瀨高　やす子

散らぬ間にと紅梅の二枝三枝、松やに持せて母様は雪子をお抱き遊して、久し振りでお祖父様の處へ、只一人の御留守居番夕のまうけは何にせん、今日こそはお賞の御言葉いたゞかんと、ほゝゑみつゝ例の筆記くりかへし〳〵、昨日くけたばかりのうす桃色の襷かひ〳〵しく、玉蔥きざみ始れば、高き薫りは鼻より目にぬけて熱き涙の流るゝ可笑しさ。折柄勢よく馳け込み歸りし弟の頑白坊が「ヤアイ姉ちやんの泣蟲やアい。」

評　其筆記を見乍らの、御獻立は拙者信用不仕候。

秀逸

東京　清岡　弘子

今日こそは一人でゆつくりと、枝折戸より拔いて、、後の山にひた登りに登る。息も切れた許りなれど、其は嶽の種と足ふみしめて漸く頂上に着た。ほつと息して落葉の上に坐ると、前は渺茫たる相模灘、霞たなびく伊豆の山々、扨は江島鎌倉は繪の如く、數しれぬ白帆は靜かなる浪間に漂ふ。われを忘れて眺むる折しも、いつ認めけむ弟妹の下より、われを呼びつゝ登つて來る。

評。日記の一節として長く君が胸裡に秘めらるゝものならん。

雛祭　廣島　藤野　錠子

春風そよ〳〵と、擬句ふ小座敷に、花ちやんはお友達をお招ぎして、お雛祭の最中である。辨慶さんの大きな眼をむき出し、お多福顏のにこ〳〵顏など、左側にあるオチは御馳走を横目に見ながら、欲しさうに首を延して居る。

評。面白きまとゐかな。桃の日にふさはしき小座敷なり。

愛國婦人　佐賀　小林　龜子

蜜柑賣りに來りし女、日頃うわさしつゝありし、わが兄が友の娘よりときゝて、もしやと思ひ從兄といふ人知りはせずやといへば、よく知りて侍り。彼の人は出たびの戰にいたましくも片手片足を失はれ、今は只一人の母君と淋しく日を送り居られ候。今まで貞節を盡されし嫁君はいかなる譯か、自宅へ歸られ候と涙ながらに問はず語りしぬ。われはこのあはれなる癈兵の身の上をきゝて愛國婦人のつとめ、いよ〳〵重きを知りぬ。

評。哀なる物語りなり。筆致流暢また之にかなへり。

夕ぐれ　東京　三浦　芳野

薄絹もて包まれた様な美しい月影にうかれて、足は知らず〳〵晋裳屋にむいた縁下の畑は見渡すかぎり菜の花が咲きつゞいて、其間をうなゐごのかけまはる様は天童のやうである。

初見参　大分　桂木　濟閑女

今日よりわらはもお仲間に入れ給ひてよ。實に瀧り得ならぬ梅子の君や、眺め麗はしき櫻の姫、さては盛りめでたき桃子の君など皆とり〴〵に色香をきほひ、咲き匂ひ給ふ御園に、ひとり色も香もなき深山の奥の古樹立ち來らんはいと面はゆけれ。と、俗に枯木も山の賑とやら、よしなに頼みまゐらすになん。

評。來年を用ひないやうに願ひます、添削に不便ですから。

花を見て　東京　水谷　光子

世には貧や病の爲に、惱める數多の人多かるに、己一人花見に浮れ歩かんもと家に籠り居しに、友の來りて頻りに誘ふ儘墨田へと志しつ。われは咲亂るゝ美しき花よりほろ〳〵と散りかゝる花を愛す。何となう大和男子のふりに似たるに、殊に人散りて夕暮迫る川面に鐘淋しう響きてはら〳〵と袖にかゝる花、床しさのきわみなり。

評。咲匂ふ花の美しさより、散りかゝれる花の可憐なるを愛すること、選者も同感なり。

彌彦神社　越後　歌川　美知野

「名產玉兎搗餅子はいかゞ」を聞き流して、勾配の烈しい路をすこし行くと、鳥居の前の小流は一つ一つ揮んだ様な小礫に、水晶の水がさゝやいて居る。境内は彌彦山を負ふた、廣い〳〵芝生、小松の蔭に瞑想に耽つて居る青年がある。虛になつた松、二三百年來の杉、神蘊は神さびて、瞑には神馬のいなゝきが微に聞える。

評筆致老熟、結構幽雅。

をさな心　岡山　入木　清子

亡夫の手植の櫻も今は形見となつた。今朝咲初めし櫻花一枝手折り、わすれ形見の靜子をつれて、淋しく墓前に手向けた。靜ちやんお前のお父さんは玆に被居つしやるのだよと云へば、お父ちやんと呼ぶをさなな心のあはれさ、いぢらしさ、苔の下にて如何に見そなはすらん。

評。斷腸の文。

春の日　長門　河野　梓子

雪に埋るゝ冬の日の悲しき夢は、今しも閉されて世は春の日と甦りたり。四方の山々は古き衣を脱ぎ捨てゝ霞の袖を身にまとひ、淺みどりなる新草は遠く野面を覆ひ、百鳥ほがらかに、空高く歌ひ、百花嫣然として笑みそめぬ。あゝ自然の美、自然の妙、樂しみ盡せぬ春日げに樂しきは春の眺めなり。

評。全文錦繍の文字也。

命日　本所　中山　正子

日露卒天の戰役で、花々しき最後を遂げられた、お隣りの奥様の良人の御命日である。日頃見馴れた一重垣の柴折戸から靜かに私は訪れた。薄暗い六疊の佛壇に燈明灯し寫眞を飾せて、軍服を著て紅葉のやうな手を合す政雄さんを前に、艶やかな切髮の奥様が唱へる念佛に挾く香のかをりに、座敷はおぼろなり。

評。哀傷無量。

夕ぐれ　青森　留目　文子

箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井川。今日も荷駄馬を曳いて、歌ふて行つた。時は櫻花はらはらと散つて長谷寺の鐘の音一つ止んで又つゞく。附金山に落ちかゝつた夕陽は。床の間の置物を斜に照して居る。

評。趣筆といふべし。

おもひ　岡山　坂田　元子

しと〳〵と降りつゞいた雨も漸く晴れて、お月様は麗しい御姿で御見舞下すつた。やれ〳〵嬉しやと喜んで居る間に、何處から來たのか黑雲は容赦なく隱してしまつた。自分の運命によく似て居ると思ひ乍ら、我を忘れて、しばらく佇んで居ると、月はまた出た。

評。蛟龍に屈せずして進むは、人として最も尊ぶべき行爲の一なり。但月に叢雲の譬は少し陳からずや。

佗目傘　佳　越中　永井　千代子

たそがれ一聲の雨に、場上の人は花と共に散りゆきて唯斜めなる雨脚、相迫りて繁く、水を流りて響く蹄鐵の音の身にしみて、心さびしきに。遠目にもしるき一人の手弱女の、紅の裳風になぶらせて、雪の肌みえつかくれつ、纎手にかざす蛇目傘の上にあだなる花片のせて、いづち行くらむ、いとおぼつかなし。

評。妖艶なる蛇目傘の主、たそがれ雨の場との配合も、わざとらしからずして、心地よし。

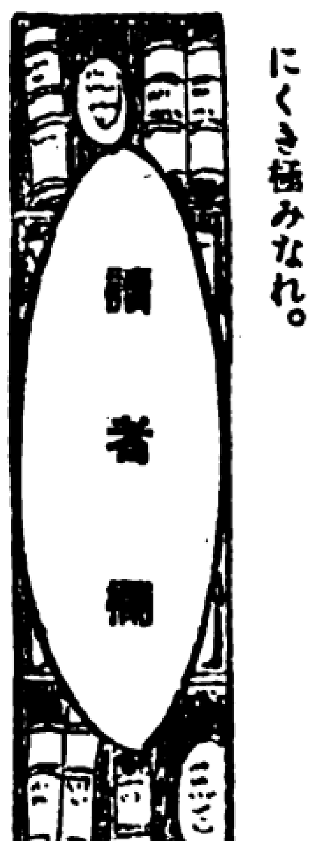
梅のいのち　靜岡　安永みち子

春雨のつれ〴〵と降暮したる一日なりき。なす事もなければ同じ寄宿舍の友の許に、一輪ざしの白梅の明日をも知らずなりしを、偽くろ〴〵と彩りて、歌一つ添へてまゐらせぬ。

爲染にそめてまゐらす白梅の。さかりはかなく散るを惜みて。

彼の君いらへもせで、はや花の袖はなくて大き蓮の殘りたる辭桃たゞ一枝おくられぬ。——日記の一節——

評。若いたる白梅の花を眞暴に揄つた貴女よりも、大き蓮の殘つた辭桃を送られた友の君の志こそ、心にくき極みなれ。



▲愛國婦人の課題により麹きしらべ御覽を頂候ひしに計らずも一等の御選預り候由にて　總裁殿下の御染筆御惠與之榮を得難有拜受御禮申上候　浮洲龍子)▲扇子一本、主婦の職分一册、繪端書十枚、和歌并新體詩に御報知まで(西山敦子)▲拜啓貴社益御隆盛之由奉大賀候　拙先般は應募　俳句へ投書致し　候處吟進賞へ　當選致候段主婦職分等御送與下　され有がたく先は　御禮まで(坂田元子)▲拜復今回は御可嘩にも御決算書御送付被下難有拜見大に安堵仕候實は私事無而及ぶ限り國家の爲に盡さんと存居候へども身體弱く候間何一つ仕出來したること無之、愛國婦人を見るごとに、胸に釘打つ思起り遺憾千萬に有之候、今後不及乍ら勉むる覺悟に候間宜敷御誘導願上候(上田計意)▲貴社益々御隆盛奉賀候扨拙詠當選の由にて、主婦の職分繪端書御山御惠送被下難有受領仕候先は拙筆を以て御禮申上候かしこ(大橋のぶ子)▲拜啓記者様の直上げ云々は啼節柄御尤千萬私共にたても同情にたへぬ次第なれば、直上げと聞き、讀み捨てにも聞きすてにもならぬまゝ、卒先者の特權を得たしと有中のべ候かしこ(大坪友子)▲御社日にまし御隆盛國家の爲深く御喜び申上候扨此ほどは拙稿思ひもよらず二等に當選の由にて御惠送の主婦の職分、主に日頃慕ひまつれる姉君達の言葉の花も、咲き匂ふ繪端書數々確に入手仕候へ共、其他の御方と御間違ひと存候、現に角品は御あづかり申置候へ共、御一應御調下さる様先は御禮旁々あら〳〵かしこ(永井千代子)本誌第百四十八號にて御當選になつた、永井千代子さんは貴女と違ひますか、若し違つたら大變ですが(係)▲お嬉しさびしく候旨記者様御一同益々御健に御精勵の御事何より目出度存上候扨て百四十八號誌上へ「春風に小川の氷とけそめて里の少女が根芹摘むなり」と他二三首詠送致候が如何なるまちがゐにか、詠草到着致さゞるか誇乍ながら讀者欄にて御知せ下され度願上候(桂木濟閑女)△編輯局では隨分注意しますが、澤山の投稿ですから和歌とか俳句とか、見やすい處に記して無いものは、一寸見て直ぐ其係の方に廻してしまひますから、和歌が俳句の係へいつたり、俳句が和歌の係へいつたりして沒書の憂き目に遭ふものがあります。注意して判るように御記しなさい。本社でも猶一層注意しませう(係)▲臨時増刊を惠み給ふ事のうれしさに、聞をめづる心つくしのしつか身にかなるも床し梅の一ひら(福岡昭子)▲記者様小品文當選賞として、妃殿下御染筆紬繪葉書十枚慥に頂きました。及ばず乍ら此後とも力を盡しますから、其かれ小說のやうな物は投書して御のせ願はれませうか、又投書をハガキ大の洋紙に書いて同封にして送つてはいけませんか(水谷光子)△小說其他の投稿は必ず掲載するとも掲載せぬとも限りません、要するに拜見してから、よければ載せるし、惡ければ載せないのです。又投書はハガキ大の洋紙に書いて同封で送つても、決して差支は御座いません(記者)▲彌生とは申しながら未だ朝夕は冷々しく候御社御一同様には御機嫌よく渡らせられ候段、萬々御めでたく存上まいらせ候扨此度は拙き歌文三等に當選に相成候とて、思ひもよらぬ美しき扇子並に常々慕ひまつれる諸姉君の匂ひゆかしき言の花の咲みてる繪葉書かず〳〵御送り被下有がたく存じ厚く御禮申上候かしこ(竹入房子)▲謹みて一筆申上まゐらせ候春とはいへども吹風はなか〳〵につめたう候を記者御一同様には何の御さわりもなくて御精勵なされ候御事何より御めで度存じ上候扨は不肖私事拙作二等に當選仕り候よしにて有益なる書物御めぐみ下され有難く正しくお受仕り候不才の私奴この上ながらよろしく御願み申上候先はお禮のみかしこ(金原なを子)▲拜啓昨八日は拙作品中にも當選の榮を被り、賞品として閑院宮殿下御染筆一軸及繪端書七枚、新體詩集御贈附下されありがたく落手いたし候、かしこ　(安永みち子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彩雜詩

編輯局同人選評

一

花賣少女　函館　前田武子

緋桃咲くローマの田舍。
空晴れて日は麗らかに
彩れる春の浮雲
囀りて舞飛ぶ雲雀。
日はのどか。セントポールの
大鐘は全都にひゞく。

頬の色は淡ら紅みて
凉しき目、匂ふ唇。
タイバルの水が磨ける
美はしき花賣少女。
亂咲く千種の花を
いと優にやをらかゝへて
「花園に暫時のわかれ」
獨ごち街にし向ふ。

(註セントポールはローマの大寺にしてタイバル河はローマを流るゝ清流なり。)

評。咀嚼される西詩の俤、いとあざやかなり、敬服。

二

ちる花　靜岡　安永みち子

窓なかば開きたる
机には玻璃の甕
春の水やわらかに
清らかに澄みわたる。

耀ける眼眸や
のぞみある頬の色
春の香を染めし筆
すゞしろの花を持つ。

君やがて來ますとも
來ますとも知らぬかに
ちる花を頬にうけて
わが窓は日にむかふ。

評。題は窓と改めた方が適切と思ふ一等に比して遜色なき佳作である。

三

夕暮　廣島　金原なを子

夫まちわびて繙ける
書にも倦みし日のゆふべ
小窓を明けてもしや君
歸ると見れば庭の面に
雪とまがひて匂ひてし
白梅いつか地にみだれ
糸よりほそき春雨の
霽るゝ暇なく日も暮れぬ。

評。夕暮の景巧みに詠ひ出られたり。

秀逸

○　三重　西山數子

油なのべし春の川
源みれば雌の鹿が
濁すは誰かがいたづらと
蹄ひたして水鏡

評。作り過ぎたるけはひ見ゆ。

待鶯　岡山　清水梅子

積る白雪消えぬとも
そよ吹く風も寒からず
日毎薫りは增すめれど
花の香送る春風よ
春の女神のすさびにや
わか木の梅もほゝゑみぬ
訪ふ鶯の聲もせず
待つとし告けれ谷の月に。

評。技巧は稍整つて居ます。此上は少し新しい方面を御詠ひなさい。

ゆふべ　東京　水谷光子

桃の家花は開きぬ。
去にし年主召されて
露と散る譽は高し
桃はまた門に咲けども
遺なる幼子抱き
紫の雲は西へと
破れたる袖に淋しき。
ああされど淋しかりけり
霜しろき滿洲の野の
あゝされど殘されし妻
なつかしきわがせはあらず
夕暮の空を望めば
桃の花ちりて舞ひら

花賣女　越中　永井千代子

自然の神の寵に
咲出でたりしその花を
惱みますなる父親を
少女心ぞいとをしき。
打抱かれて淸らかに
長き月日のいたつきに
助けん爲と、剪りて賣る

評。簡潔に作るやう御心掛けなさいませ。

父の舟　甲府　林友惠子

まだいはけなき子心に
うき思ひさへ白波の
父の舟をぞ待暮らす
父の苦勞も母親の
寄する磯邊に下立ちて
海人がわらべぞいとをしき

評。同上

花の宴　東京　中山由子

青草もゆる築山に
花の宴する春の日に
吹雪と花も散りにけり。
毛氈を敷き友よびて
小鳥も歌ひ蝶も舞ひ

評。内容の豐富を期せられたし。

應募者への注意　選者

一、原稿は一人にて少くとも二篇ぐらゐ宛、送られたし。然すれば一篇は沒書となるとも、他の一篇は入選する事もあるべく、諸子の都合も亦選者が添削するに就ても、極めて便宜なりと信ず。

二、成るべく短きものを作るやうせられたし。餘を延ばしたる如き作は、選者を困苦めること非常なり短かくて佳く出來たるを當選とするが、選者の方針なりと知り給へ。以上。

雛菊

――アンデルセン――

中あきら

雛菊の喜はどんなであつたてせう、とても口や言葉ては及びません。と、雲雀は囀て接吻して蒼空高く舞ひもどつて了ひました。雛菊が穩な例の心に復つたのは少くとも十分後のことてした。半ば恥らつて居てもうれしさに胸は躍つてお庭の花の方をきよろつと看ました。お庭の花は雛菊が受けた榮譽と幸福を目の當り見まして、どんなに嬉しいものだか位は知つてたのです。けれど鬱金香はなほとつんとすまし込んてましたが只例もより上氣した險のある顔付に見えました、もと〳〵お肚の中は燃えてるんてすから。芍藥も頭をむしやつかせてましたがそれてもまあ皆んな物言ふことが出來ませんから雛菊はお極の惡口だけは云はれずに濟んだのはまだしもの事てした。此不機嫌な顔を見ました雛菊は必から悲しく思つてますと其時丁度一人の少女がお庭に出てきました、手には大きな能く切れさうな刄物を光らして突然鬱金香の方へ行きましたがやがて花を一つ〳〵切採つて了ひました。雛菊は嘆息を洩して

「あれ！、大變、斯うなつてはもうお仕舞いだ！。」

少女は鬱金香を持去りました、雛菊はお庭の外の青草のかげにほんのみすぼらしい小花に過ぎない自分の身上が今更に喜ばしく、卑い運命を何よりも感謝するのてした。そしてお日樣がお入りになると花瓣を疊込んて眠て了いました、全夜お日樣と雲雀の夢を見て。

明朝又も白い花瓣が空と光に向つて澤山の小さな腕を伸してたのしさうに起きました時、雲雀の聲を聞きました。けれども例にもない歎しい鳴聲――それと云ふのも無理もないことて雲雀は今囚れて明け放の窓側に籠の中に居たんてすから。

雲雀は自由に何の障もなく飛び廻ることの樂しさを歌つてました。野に育つた若々しい綠色の穀物又は青空高き邊りをかける鳥の旅の氣持よさなどを歌つてました。可憐さうに今は籠の中の囚の身てした。

どんなにか心苦しいのてせうとも。

小さな雛菊はどうかして雲雀を助けてやりたいとどんなに願つたてせう、けれどもどうしてそれが出來ませう、容易な事てはありません、雛菊はもう自分の四邊がどんなに美しかつたか、お日樣はどんなに暖であつたか、自分はどんなに白い可愛い花てあつたかそんな事は皆んな忘れて仕舞ひました。たゞ助ける術もない捕れた雲雀のことばつかりを思ひ詰めてるのです。

丁度其時二人の兒童がお庭から出て來ました、先刻少女が鬱金香を切つた時の刄物らしい能く切れさうなのを一人が持つて雛菊の方へやつて來ました。全體この兒童がなにしてこゝへ來たのだか雛菊はまるて想像も出來なかつたのてしたが。

「雲雀にこの青草の清潔さうな處を採つてやらう。」と一人の兒が云ひますとやがて雛菊の周圍を角形に刈り始めました。て、雛菊も刈草の眞中に一緒になつてる譯てす。

「雛菊はちぎつて捨てゝ仕舞ふ。」斯う兒童が云つてるのを聞きましたとき雛菊は顫へるほど喫驚しました、捨てると云ふのは生命を奪ると云ふのと同じことてしたから。それに雛菊はどうかして生存たかつたのです、生きて居てあの籠の中の雲雀の處へ綠草に交つて行きたかつたのです。

「いゝや、斯うして置かう、こんなに可愛く咲いてるんだから。」と今一人のが云つたので雛菊は其儘にされて雲雀の籠に連れられました。

不憫な雲雀は自由てあつた前のことを思出して高聲に悲しんては針金に翅をばたつかせて煩えるのでした。雛菊は話をすることは出來ないので、どうかして慰藉の一言でもと思つてもそれは駄目てした。かうして朝も過ぎて了いました。

「水がない、彼兒達は家を出てつて私に一滴の水をくれることも忘れて居る、咽喉は焦げる燒ける、私といふものゝ中には火と氷とが一緒にあるのかしら、空氣はいやに重く壓付けるやうだ、あゝ私は死なゝくちやなるまい、暖い日の光にも綠の若草にも、神が創造られた美い物にも皆んな別れなくちやならないのだ。」

雲雀が斯う云つて渴を治したさに嘴て冷い青草の蓐に穴を掘りました。すると計らずも雛菊に目が付きましたので頷いて

「お前もやつぱり此處て凋れるんだね、可憐さうに。あの樂しかつた廣い世界の換たと云つて私に與へられたものはお前とこの小さな青草の蓐とつきり。お前の白い花瓣の一つ〳〵が香の好い一つの花青草の一葉〳〵が繁つた一もとの大樹。あゝ私が失つた種々の事を話してくれるものはお前ばかりだ。」

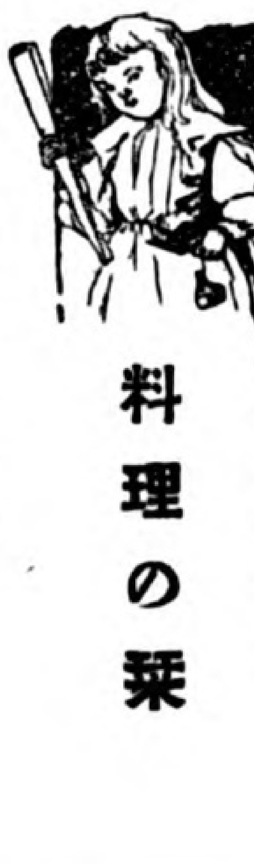
と云つて嘴て接吻しました。

▽つき盡し△

大分　桂木清閑女

小僧は御寺の鐘をつき、私はころんで尻をつき、隣の御家じや餅をつき、奥さん鏡にへばりつき、孃樣はおさんにかぢりつき、三毛猫坊やにかぶりつき、銀行の金庫に鍵がつき、奥さんのうしろには下女がつき、妹はおあんて毛毬つき、愛宕のお山におぼろ月、おかめの額は天をつき、甘い物には蟻がつき、坊さん御經よんて息をつき、寺の男が鐘をつき、ロツつき、トツつき、クツつき、カツつき、かぶりつき、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



料理の栞

家庭簡易西洋料理法

私立英語專門櫻井女塾長　櫻井ちか子

BEEFSTEAK SMOTHERED IN ONION.

Put in the shillet a little lard and the steak; peel the onions; slice and lay them over the meat till the shillet is ful; season with sait and pepper; cover it tightly and put it over the fire.

After the juce of the onions has boild away and the meat begins to fry, remove the onions, turn the meat to brown on the other side, then replace the onions as before.

Be very careful that they do not burn.

葱を添へたるビーフステーキ

ラード少しと肉を深き鍋に入れ其上に玉葱を輪に切りて澤山のせ鹽胡淑をふりかけ蓋を被ひて除火にかけるのです、葱の汁が煮え付き肉が燒け初めし時に葱をとり除き肉を裏返して後ち前の如く又其葱を肉の上にのせて燒くのです葱が焦ぬ樣に注意せねばなりませぬ

注意　肉を大切りのまゝ鍋に入れ前記の如くして煮え上りたらば肉を鍋より取り出し薄く切り葱と共に皿につけ置き、鍋の中にある汁の中へバタ少しと煮え湯を加へよくかき交ぜながら、うどん粉を入れ薄き葛湯位になして一度煮立たせたる後ち前の肉の上に掛けるのです。

三越呉服店の假營業場

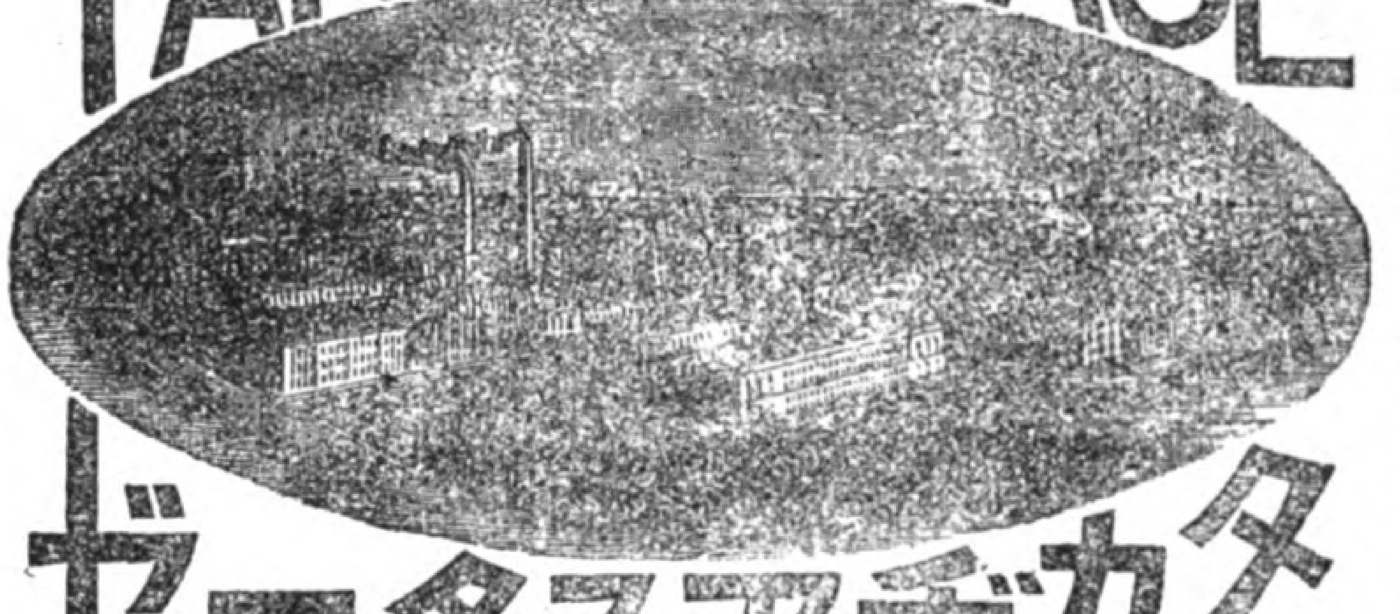
昨年八月下旬を以て工を起したる三越呉服店の假營業場は、本年三月十五日を以て落成し、四月一日より開業の由なるが、今左に其設備の一斑を紹介せん。同呉服店本館の大さは間口二十四間半、奥行二十間字、建坪五百餘坪、軒高さ五十四尺の木造倫家建にして、建築一體の方式は晩近の「ルネッサンス」式にして、内部の裝飾は適宜歐洲古今の諸手法を混用せりと。休憩室、寫眞室、食堂、演奏室、及防火裝置、リフト、イルミネーション、室内電氣裝置、等の諸點の完全せることは眞に本邦唯一の名に耻ぢざるが如し。

胃病良藥　太田胃散

大俵炭
大徳用　山出シノ儘叺入堅炭、土釜、切炭、賣俵ハ拾貫目内外入
目方ウリ　市内ハ無賃配達
戸塚商店
（電話本局三二〇八）
神田三崎川岸

實用新案特許
二枚折藤井式衣桁
定價　甲　六円　乙　五円五十錢　丙　五円
東京市麹町區三番町廿九番地
掛物箱製造販賣　藤井兵太郎

色を白くつやをだす
松澤ホーサン石鹼
大形一個　廿錢
小形一個　十錢
（にせ物）あり右商標と松澤名義に注意
東京本石町四丁目
松澤常吉化粧品部



TAKA-DIASTASE
タカヂアスターゼ

世界最大の製藥工場
パークデビス社は完全なる設備を有する世界最大の製藥會社にして、上圖は其デトロイトに於ける本社工場の全景なり。此他同社は加奈陀及英國に同一規模の分工場を有し、世界の醫家が要求せらるゝ總ての醫藥品を製造す。

高峯氏發見消化新劑
タカヂアスターゼはパークデビス社の製品なり。完備せる裝置の下に熟練なる技術者に依り、製出せらるゝ本劑は品質純良、毎瓶強度均一にして、又其効力永久不變なり。醫師及藥舖諸彥！模造品製造者の誇大なる虚僞的廣告に誤らるゝ勿れ、世上本劑以上の賣品なきは歐米及吾多數醫學大家の實驗報告に徴し確認せらるべし、需用者は必らず高峯氏タカヂアスターゼと指定せられよ、本劑は粉末錠劑水劑の三種として發賣せり各地藥舖にて販賣す
代理店　東京南茅場町　三共藥品合資會社

私立英語專門櫻井女塾（生徒募集）
四月六日新學年開始
東京本郷向岡彌生町

Always get the Emulsion with this mark—the Fishman—the mark of the "Scott" process!

肺炎に罹りたる後スコット乳菓を用て健全となりたる例證

愚息儀肺炎に罹り滿三ヶ月間伏蓐罷在り萬一回復するも結局は肺結核となるべしとの事にて總身肉落ち骨顯れ見るも不憫の容体と相成申候然るに醫師の勸告に由りスコット乳菓を服用せしめ候處未だ一壜も飲み盡さゝるに食慾大に進み總ての經過良好となり現今にては却て罹病前の何れの時よりも健全にて相替らずスコット乳菓を嗜好致候拙者共はスコット乳菓が愚息に與へたる好果を視て右愚息の平癒を以て全くスコット乳菓の効驗の致す所と確認致候

千九百六年三月十一日

シーフキルド、ドールセット街六拾三番地
ジョン、イー、ブレーキー

右快復の理由

右ジャッキー、ブレーキー、が肺結核とならずして快復したるは全くスコット乳菓中に含有する優逸なるロフオテン大口魚肝油（最上等にして最高價なる肝油）が其肺臓を癒やし其全身に良好堅靭なる筋肉を造成せしむるの精力を有したるが爲めなり

他のありふれたる大口魚肝油乳菓は斯くスコット獨得の完全なる製法に由りて充分に消化し易くせられたる最も純良にして最も活力に富める肝油にて製せられたるものに非らざるが故に斯の如き偉功を奏する能はず

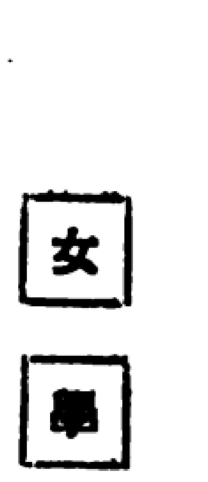
包裝の大口魚を負へる漁夫は前述の如き驚くべき快復が唯偶然のことに非らずして確實の事實なることを保證す

院長　醫學博士　榊順次郎　婦人科産科每日午前診察
副　醫學士　久保徳太郎　婦人科外科外國留學中
副　醫學士　田代謹二　婦人生殖器病外科一般泌尿器病及内科火木土午後診察
●施診火木土自午後一時至二時
婦人科産科　榊病院
麹町區三番町三三（電話番町三一九五）

院長診察月、水、金、午前、松田醫學士診察火、土午前、窮者施診火、木午前入院診斷後隨時應需
松田、林、兩副長ハ目下當院ニ在勤、
電話本局八八八（病院用）八九八（私宅用）
東洋内科醫院
東京市神田區駿河臺鈴木町二番地（御茶水橋畔）

院長醫學士高田耕安
神奈川相州高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）
南湖院
河野、中村、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後○同時窮者施診
副長診察月、火、水、木、金、土午前
○入院診斷隨時應需○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



女學界

△**女子美術學校**　本郷區弓町同校内にて去三月廿八、九兩日第七回製作品展覽會を開き洽く公衆の縱覽に供したり。

△**成女學校**　去三月廿八日市谷富久町同校にて第八回卒業證書授與式を擧行し來賓安部磯雄、乙竹文部視學官の演説等あり、右終て後更に午後一時より兆花會を開き例によりて英語對話、邦文朗讀、英語狂言、歌劇、朗吟あり、仲々の盛會なりき。

△**東京盲唖學校**　去廿九日同校に於て卒業證書授與式を擧行し、尚同日訓盲點字工夫者佛國盲人ルイブレイユ氏誕生百年紀念と本邦盲唖教育創業者故古河太四郎氏紀念の爲め二氏に關する書籍を展覽に供せり。

△**女子高等師範學校**　去月三十日午前同校に於て第十九回卒業證書授與式を擧行せり。

△**女子音樂學校**　去月卅一日午後二時より神田美土代町青年會館に於て同校卒業證書授與式を擧行、式終て後音樂演奏會を開きしが頗る盛會なりき。

△**日本女學校**　本郷切通上同校にては本月六日午後一時より第七回卒業證書授與式を擧行する由。

△**山脇高等女學校**　愛國婦人會評議員山脇房子女史の經營せる赤坂檜町なる高等女子實修學校は去月十八日附を以て文部大臣の認定を得ると同時に前記標題の如く校名を改めたる由。

△**女子英學校**　愛國婦人會評議員津田梅子女史經營せる同校にては兼て蓄積せる奬學金利子を以て教授に經驗ある英語の女教員に一年間學資を給し同塾にて學ばしむることゝなり第一回給費生として同校教員湯川銘子を撰べりと云ふ。

△**三輪田高等女學校**　愛國婦人會評議員三輪田眞佐子女子經營せる麹町四番町同校にては去月廿七日卒業證書授與式を行ひ本一日入學試驗を擧行せり。

△**跡見女學校**　愛國婦人會評議員跡見花蹊女史經營せる小石川柳町なる同校にては去廿七日卒業證書授與式を行へり。

△**女子職業學校**　神田一つ橋同校にては去三十日卒業證書授與式を擧行せるが、それに先立ち去る廿七八九三日間校内にて卒業製作品、生徒成績品展覽會を開催せり。

△**府立第二高等女學校**　小石川竹早町同校及び東京府女子師範學校にては去廿九日同校にて卒業證書授與式を擧行せり。

△**東京裁縫女學校**　本郷東竹町同校にては本月二日卒業式を擧げ翌三日、四日兩日成績品展覽會を開催せりと云ふ。

△**東洋女藝學校**　神田仲猿樂町同校にては本月四日卒業式を擧行、翌五日より二日間生徒製作品陳列會を開くと。

△**東京音樂學校**　去月廿八日午後二時下谷上野同校内に於て卒業證書授與式擧行し第二部として卒業生の音樂合唱、オルガン、ピアノ獨奏、絃樂四部合奏等ありて盛會なりき。

朝夕の化粧は如何になす可き乎

皮膚を美ろはしくする法ありや
白粉のウキを良くする法ありや
ニキビとアレを防せぐ法ありや

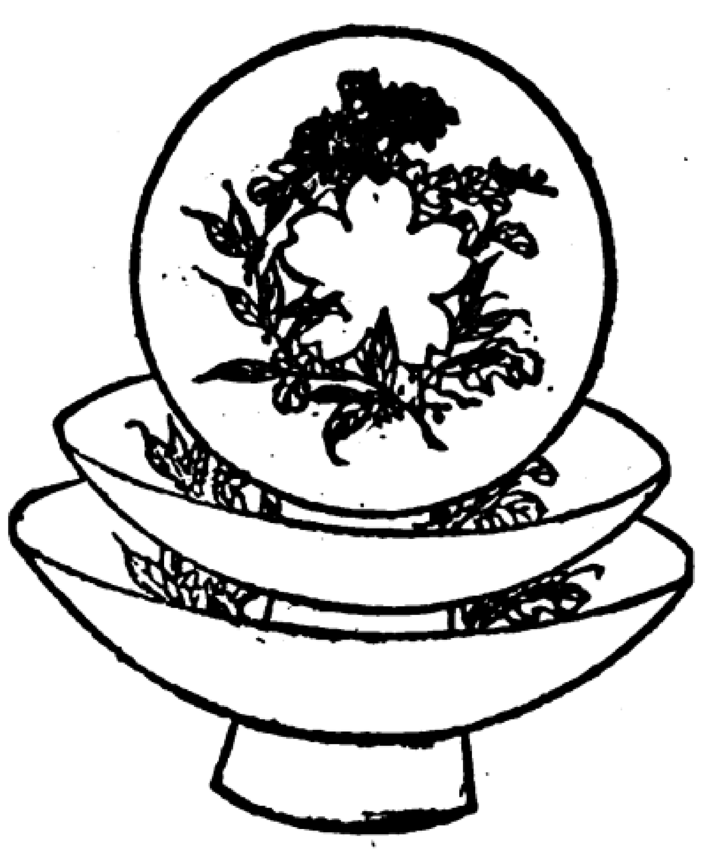
化粧の人生に必要なる事は今更申上げる迄もありません即ち文明國ほど此の化粧法の研究は盡くされて居ります我が國でも近來化粧方法に就て盛んに研究せらるゝやうになりましたのは誠に喜ぶ可き現象では御座いますが夫の研究方法が徒らに白粉の批判に止まりて未だ眞正の化粧が研究され居らんのは實に遺憾の次第であります

化粧をするに白粉は勿論必要の品では御座いますが實際のところを申上ると白粉は一種の上塗たるに過ぎませんて奇麗に艶かに化粧を遊ばそうと思召すなら是非共素顔を美しうするの必要がありますが夫れでないと折角の化粧が斑になつたり直ぐ剥落たりするやうな不細工の結果を生じます然らば素顔は如何にせば美つくしうなるかと云ふに夫は極く譯もない事で當時化粧水として評判最も高きローヤル水を御使用になるに限ります

ローヤル水は皮膚に最も有益なる數種の藥品を調合し之に芳香を加味してありますから之を平素御使用になれば白粉の剥げる憂は更になく

第壹　色を白くし
第貳　白粉の毒を豫防す
第參　ニキビとアレ等に効あり
第四　皮膚に營養を與ふ

るの四大特効があります從つてローヤル水を平素御用ひなれば決して白粉の毒などの爲に素顔の醜くなる憂はありませんのみならず美麗なる容色を一層美麗にして何時までも艶やかな膚を保有ことが出來ます定價大五十錢中卅五錢小廿錢郵送料十二錢郵券代用の御注文は一割增發賣元は東京銀座壹丁目ローヤル化粧料發賣元佐々木商店で販賣店は全國到る處の洋品店、化粧品、小間物賣藥店にあります



金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達　玉寶堂
電話下谷(特九六五番・一二四四番)

本品は畏れ多くも
常宮殿下
周宮殿下
富美宮殿下
泰宮殿下
御使用品

高等香油
チエリーオイル
紳士貴婦人令孃用

千九百七年式巴里流行
乳狀薄化粧料
フエスクリーム

珍ら敷新輸入品
最も日本婦人に適し皮膚の營養滑澤に實効ある
佛蘭西新式煉白粉代用品

本品は顔を洗ひ乾きたる後少量を萬遍なくぬり摩擦すれば實に得も云へぬなめらかによきつやを出し香氣よくあれを防ぎ白粉やけ皺のよる憂なし又あかりの汚れることなき嶄新良好なる潮化粧料として紳士貴婦人間に高評あり

定價一瓶三十五錢全國到る所の賣藥小間物化粧品店にあり

東京市日本橋區本町二丁目
チエリーオイル本舗
發賣元　高橋初次郎
振替貯金口座一〇九三二番
電話長本局四一一三番

美顔料

色黒き人に告ぐ
肌を艶白たらしめんと欲せば牛乳浴牛乳浴に勝るは
クリーム石鹸　定價 小形十五錢 大形廿五錢 五十錢
香氣馥郁として香水匂袋の代用をなす
輸入元　東京神田久右衛門町　オーケー商會

△新刊二種▽　わが愛國婦人の社説にてお馴染の文學士下田次郎氏の著、女子の修養と云ふ佳い書物が、博文館から出ました。婦人の讀物として、面白くて、為になる事が、判り易く書てありますからお讀みになるやうお勧め申します。定價は金廿五錢です。▲次に日本女鑑の第一篇が、内外出版協會から出ました。稲田克己氏の著で、中宮定子、清少納言、紫式部、春日局、井上通女の五人の事績が親切に丁寧に、論評されて居ます。志のある方は御一讀なさい。定價四拾錢です。

最上醬油

品質ハ　印ト　少シモ　異リナシ

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門
釀造元　千葉縣銚子町　濱口吉兵衛

宮内省御用達

最古醬油之元祖

開業貳百六拾四年

釀造元　下總銚子町　濱口合名會社
振替貯金口座五〇貳壹番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四月一日より
染織競技會開催仕候
新案芦手摸樣と稱し最も優美高尚なる圖案を應用せし新製品澤山陳列仕候
右應用の衣裳を六歌仙に因みたる六個の人形に着用致させ店内に陳列御觀覽に供し候
●仕立洋服發賣仕候間御用命奉願候
◎◎◎◎よせきれ見切反物大賣出し仕候
東京日本橋
白木屋呉服洋服店

商品案内表無代送呈
寶石入指環・金鎖・七寶花瓶
大勝堂
東京銀座通尾張町
電話新橋二二六四番

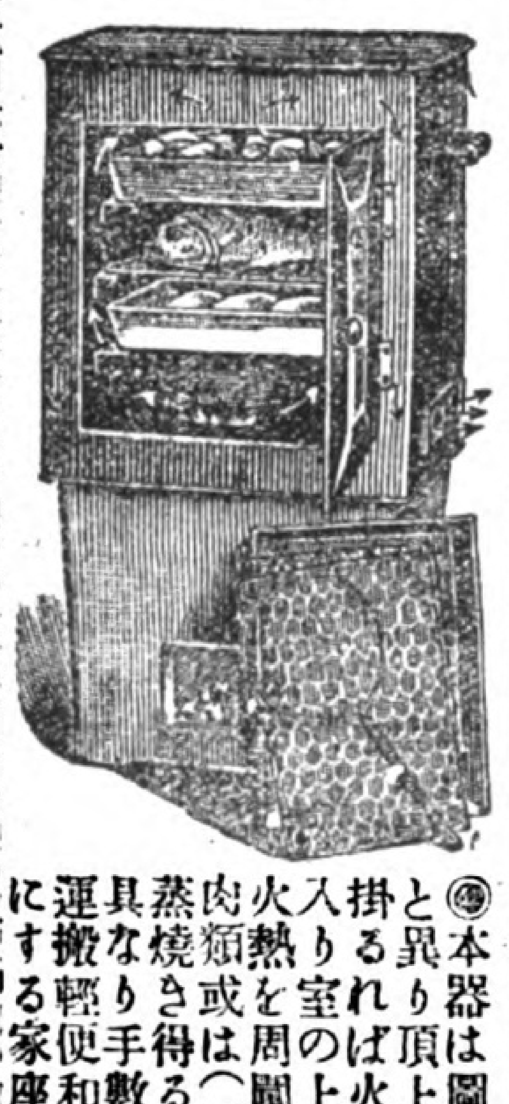
銀牌受領
宮内省御買上ノ光榮ヲ得タリ
香油パール

春季節草花
洋花植物柄
半ゑり帯揚類
花長伊ネ帯千守絞麻手
季襦遂ク止代巾り形が
用袢巻タ〇田着て織ら
シ〇〇イ羽袋〇が出
ヨ襦下〇織〇延らし
ー袢志帛ひ前か毛
ル袖女紗も掛け金
諸刺繍 友染繍入 絞り形 總絞り
流行無地 白刺繍 白紋織出 各種
嶄新意匠優美高尚生粋雅致有は特色
卸賣は特に割引仕候
新橋 竹川町十二番 電新二〇二七 本店ゑり治
振替貯金口座第四四〇壹番
神田 表神保町壹番 電本局九五二 支店ゑり治
新橋際 博品館内階下出店 ゑり治

めりんす友仙
お召 絣 志まもすりん
新形太物品々
東京日本橋区人形町通り

資本金八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番
一定期預金 六ヶ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹錢

專賣特許
名和式蒸焼器
一名(テンピ)



◎本器は圖の如く在來の(テンピ)と異り頂上に火を要せず火地輪に掛るれば火力は下部中央の穴より入り室の上部中央の穴より平均に火熱を周圍に普及し迅速に魚鳥獸肉類或は(パン)玉子等を加減よく蒸焼き得る輕便經濟なる嶄新の器具なり手數と時間と燃料を節減し運搬輕便和洋割烹一切を迅速完全にする家庭臺所に必要の良器なり
▲定價(大)金貳圓七拾錢(中)金貳圓二十錢(小)金壹圓七拾錢●販賣御望の方は御相談に應ず
製造發賣元 東京市日本橋區蠣殻町二ノ一五 電話浪花千百七十七番
名和商店

資本金壹千萬圓
醸造元 日本醤油醸造株式會社
東京深川小名木川通
電話浪花 三七七三番 一五九五番
甘露醤油 ウメニホン
最上醤油 ヒシニホン
最上醤油 フジニホン
天下一品 マツニホン
●最上醤油以下數種あり
特約販賣店
合資會社日本醤油東京販賣所
東京日本橋區北新堀町
(電話浪花長一四六番)
東京酒類問屋組合其他酒醤油仲買店及各小賣店に於て販賣致候

賜天覽
大石内藏之助
△上製一圓六十錢
△並製一圓三十錢
隆文館

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

良藥にして口に甘し

たんせきに

あさだあめ
淺田飴

すきはらにめし

たんせき　ひきかぜ　はいびやう　よわき人によし

定價　金五拾錢　金參拾錢　金貳拾錢　金拾錢

東京本店　堀内伊太郎　大坂支店　取次全國藥店

最新流行せる

羽織紐　帯締紐　其外[illegible]一式

㋚ [illegible]組紐舗

東京日本橋[illegible]町

電話浪花一五六〇　振替貯金二一八五六

追々暖かになつて來ました、愈々ミシン使用の好時節です、袷なら三時間以内で縫へます、ネルやセルもそろ〳〵仕度くして置くべき時候であります、まづ小供の前掛を作つて旦那のホワイトシャツに及ばゞ家庭經濟を資くる事豈に夫れ大ならずや…………と云ひたくなります

◉**無報酬出張教授**（當分の内東京及び横濱市内）

使用法　素人向家庭用、和服も縫へる

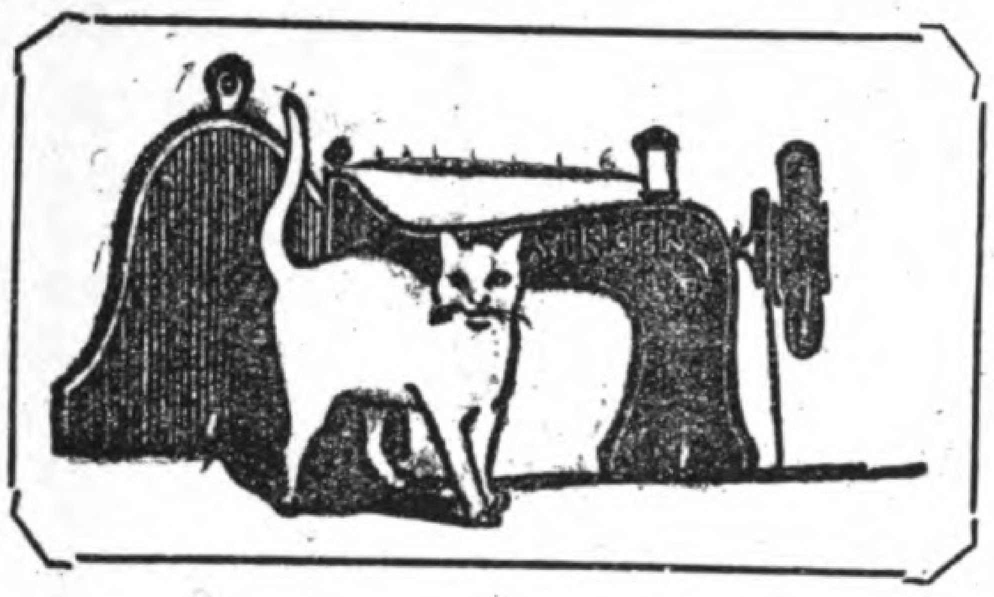
シンガーミシン

一　賃貸
一　廉價月賦販賣　貸
一　更に廉價即金賣

（明）（細）（書）御申越次第無代進呈可仕候

シンガー裁縫機械會社

銀座三丁目　東京支店



ちゞらの赤毛の人に告

二瓶一組小册錢中五拾錢大一圓前金無送料代金引換注文は廿二錢申受、取次人申込該液劑は獨逸醫學博士の發明に弊店多年の試驗劑を加味せし新藥にて僅か十分間に染上り黒き光澤を發し美麗なるは烏羽の如し而して永久禿げる事なく毛を切らず皮膚に無害なるは弊店保證す明細書は郵券貳錢送れ

毛染所　東京京橋區本材木町三ノ四　**岡田商店**

ゑり善

東京日本橋區堺町通ふきや町

電話浪花千二百七十番

四十一年

全國學校案内

最も親切なる最も精確なる全國**男女學生**の相談相手。男學生の爲めにも女學生の爲めにも詳細無比なる全國學校案内也。父兄亦必讀すべき書。

定價五十錢　郵稅六錢

日本女鑑

稻田諍光編　定價四十錢　郵稅四錢

貴きは人としては中宮定子を選びオ媛としては清少納言を選び文學者としては紫式部を選び烈婦としては春日局を選び賢女としては井上通女を選び花の如く麗はしき文を以て其一生を傳へ其著作を評し其思想を解剖せるもの紙數三百頁に餘り全卷無量の趣味と感化力とを藏す。又婦人の讀み物として小說よりも面白く、又學校にて女生徒に與ふる賞品となすに最も適當なり。

偉人に及ぼせる婦人の感化

加藤眠柳著　價六十錢　郵稅六錢

女子立志編

價册錢上製五十錢　郵稅四錢

販元　東京巣鴨上駒込　内外出版協會

半惠りは神田 赤のれんに限る

電話本局二八五三

神田表神保町壹番

出店　新橋博品館階上

經濟なる均一大賣出し

弊店にて過般來擧行仕來り候均一法賣出しの義は最も進步したる廉價の販賣法にして且物品の御撰擇にも至極御便利に付御客様方の御好評を蒙り候處**四月一日**よりは更に諸事改良を爲し物品の範圍を擴張し驚くべき安價を以て引續き大賣出し仕候間何卒不相變御來車の上多少に不拘御用命被仰付度奉願上候

◉服裝競技會の義は時々服裝を取替へ引續き店内に飾置致し御高覽に供し候

日本橋區通四丁目

松屋呉服店

牛山武兵衛

電話本局 六〇八 七一六

カメリヤ洗粉

◎容貌の美醜は化粧法の巧拙如何にあり

艶麗花に優り純潔雪よりも猶清く高雅優秀なる美貌は最新の化粧法により配劑せられたる高等美身料カメリヤ洗粉の常用によりて顯わる本品の小量を微溫湯に溶解し洗面を試みよ花香芬々として心身爽快を覺ゆるのみならず顏面潔白となりて艶を生じ年若き花の顏となるべし一回の試用斯の如し是れが常用の成績に至りては旣に愛用諸君の實驗し給ふ處にして敢て呶々を要せざるなり

東京　小林富次郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洗用 ワツセル

●此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れでも揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

●用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脫ますシヤツの如きは（拾貳匁入）一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶拭してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れの玉子で洗た樣になります又食器臺所道具ば解き掃除にも有効です

定價 拾貳匁入 金拾五錢 六匁入 金八錢 袋入二錢

東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二

英國製ワツセル日本一手販賣元 御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元 三友商會

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 森村銀行

電話（特）本局六七三番 電話本局四九八番

定期預金 六ヶ月以上 年五分五厘

當座預金 百圓に付日歩 八厘

小口當座預金 同日歩 壹錢壹厘

於勸業博覽會賜賞牌及褒狀

裁縫はさみ各種

（定價表は御報次第送呈す）

（電話浪花八五七番）（振替番號二九四七） 東京日本橋てりふり町 なごや

四月一日より

一、第十五回新柄陳列會

一懸賞課題模樣圖案陳列

一懸賞寫眞優等印畫陳列

一新流行歐米雜貨見本陳列

一新古御婚儀用調度品陳列

一、寄せ裂れ見切り反物大賣出し

右新柄會は我國染織業の改良發達を圖るを目的とし今回全國機業家の贊成を得て是迄に類なく一層盛大に開催致し候ものに有之尙は寄せ裂れ類は假營業場新築紀念の爲め特別澤山に準備致置候間實業奬勵の爲めと思召され新陳列場の御遊覽を兼ね賑々敷御來觀御高評を給はり候樣偏に奉願上候

東京日本橋駿河町

三越吳服店

四月一日より

花見衣裳

新柄陳列及見切反物よせ切れ

日本橋通旅籠町

大丸吳服店

美術技藝研究會長 梶山彬先生著

造花術新書

菊判大和綴頗美本全一冊 雛形圖案百九十餘個挿入 金五十錢 郵稅金八錢 好評第五版

刺繡術新書 大和綴

圖案百五十餘個入金五十錢郵稅八錢

摘み製作新書 大和綴

雛形圖案百五十個入金五十錢郵稅八錢

本書は學理と實際とを調和し染色鍍當組合等懇切丁寧に記述せられたるものなれば此書を繙く時は千紫萬紅の花卉は自然の儘に造り得べしされば手藝科敎員は本書を座右に備へざるは恰も鳥の兩翼を失ふに似たり且一般の家庭に備ふる時は優美なる趣味を得べし

發行所 東京市京橋區南槇町十八 廣文館

無師獨奏 紙腔琴

○奏曲自在 上製金拾五圓 中製金拾圓 小形金五圓

舶來 手風琴

新荷着 金三圓三十錢以上 金二十圓迄

西洋（ハーモニカ）橫笛

金三十五錢以上金貳圓迄

東京銀座三丁目

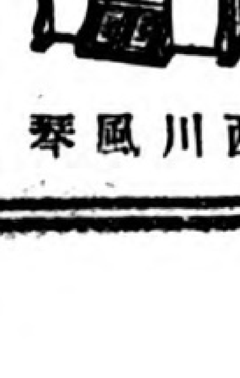
十字屋樂器店

電話新橋一二五九

大聲蓄音器

各製造會社 特約

東京博覽會一等賞牌



西川風琴

[illegible]（定價金三錢一ケ月六錢郵稅不要）發行兼印刷人 山澤俊夫 發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人會發行所 印刷所 東京牛込區市ケ谷加賀町 秀英舍工場

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外 弘報堂

神田三河町 博報堂

京橋區南紺屋町 一星社

京橋區南鍋町 秀逸社

日本橋區上槇町 萬年社

日本橋區箱崎町 春風舍

京橋區宗十郎町 正路喜舍

京橋區日吉町 帝國通信社

同區彌左衛門町 京華社支店

同區南鍋町 廣告社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附録 愛國婦人會記事

愛國婦人會記事

▽評議員會　去三月廿五日午後二時より評議員會を開き、定款改正の件、東京癈兵院在院癈兵附添家族救護の件、靖國神社合祀者遺族接待慰藉の件、第七回總會茶話會に關する件等を議し、何れも原案を可決せり。當日の出席者左の如し。
會長、毛利理事、阿部評議員外十數名。

▽評議員會日取　本月の評議員會は來二十二日第四水曜日に開催。

▽參事會　去月十八日午後二時より參事會を開く、出席者左の如し。
東郷、濱尾、松平、關、高木、山脇、仁杉等の各員。

▽韓太子御邸へ參上　去月廿日午後三時韓國皇太子殿下より韓國委員本部へ、活動寫眞を下賜せられたるに付、御禮の爲三井監事、東郷評議員、鳥居坂の御邸へ參上せり。

▽祝電　去月廿六日福井支部足羽郡幹事部總會に付、會長より祝電を贈れり。

▽遊說員出張　去月廿九日千葉支部香取郡幹事部内中和村總會に付、富樫遊說員出席講話を爲す筈。

▽葬儀　去月廿五日午後一時自邸出棺青山齋場に於ける仁尾評議員の次男新氏の葬儀に會葬せる本會職員は、本部評議員宇佐川種子、福島貞子、阪井春子、柳谷千代子、松崎悦子代、近藤從子代、東京支部幹事宇津木廣子、横幕むら子、中島佐久子、安藤作子、平岡龍子、柘植愛子、石塚晉子、淺尾忠子、笹岡さち子、吉村義子、西川終子、岡村多賀榮子の諸氏なりき。

▽理事顧問會　去月廿八日午後一時より理事顧問會を開きたり、出席者左の如し
元帥伯爵伊東祐亨、子爵清浦奎吾、男爵松平正直の諸氏、

總會彙報

▽第七回總會　未だ決定せざれども來四月下旬若くは五月上旬ともなるべきか。目下本部に於て其設備中なり。

▽群馬支部總會　本月二日　總裁閑院宮妃殿下の御台臨の下に、岩倉會長代理として伊東元帥夫人等出張臨席、盛大に擧行せられたりと、詳細は次號に讓る。

▽京都支部總會準備　同會に於ける昨年三月末日現在は一萬六千六百五十八人なりしが本年二月末の現在會員は一萬八千八百七十八人にて二千二百廿人の增加と爲たるが右總會後翌日より六日間は軍人遺族並に癈兵に對しては御所仙洞大宮兩御所並に二條桂修學院三離宮の拜觀を許さるゝほか有功章佩用者幷に特別會員には翌日より三日間大宮仙洞の兩御所幷に二條離宮の拜觀を許可せられたり當日の來賓は約一千人の豫定にて知事市長及府市參事會員其の他知名の紳士及淑女有功章佩用者七圓以上の寄附を爲せる贊助員各郡市の顧問幷に職員等にて遺族癈兵に對しては總裁殿下の御歌を認めたる扇子幷に赤飯の折詰一般會員に對しては總裁殿下の御染筆に爲れる軸物幷に赤飯折詰を給し來賓に對しては茶菓を饗應すると云ふ又參會者には其の便利を計る爲め當日より三日間山科山崎間大宮園部間福知山新舞鶴間各驛より京都驛行及大川原田邊間木津伏見間各驛より七條驛行きは往復共二割引を爲す事となれり尙ほ來る四月十一日十二日の兩日間岡崎博覽會場內に於て例年の通慈善福引會を擧行すとの事なり

▽長野支部總會　來る五月二日開會に付總裁閑院宮智惠子殿下には會長公爵夫人岩倉久子評議員男爵福島中將夫人鍋島御用掛其他家令家從各一名侍女二名を隨はせられ御臺臨あらせらるゝ由

天田郡遊說記

京都支部　富樫眞喜子

第四回報告　其一

二月十日　午前七時半京都七條驛發、天田郡福知山驛に着したるは午後一時なりき、荒川、高木の兩幹事、山口事務員の出迎を受く、福知山萬喜樓に投す、山口事務員來訪、種々遊說の打合せをなす、午後七時より吳服町明覺寺に於て開會、聽衆約二百餘名、幹事は悉皆出席せらるゝも、荒川顧問は不在の故を以て來會せられず、山口事務員開會の辭を述べ、次に自分講話、十時閉會せり、福知山は昨年水害の爲め、非常の損害を蒙り、今尙復舊せず、町內の景氣不振の爲め會員の募集は、困難に見受けたり。

二月十一日　午後零時廿七分福知山發の列車にて、荒川、片岡兩幹事、山口事務員同行、四中筋村字石原に到りたり、荒川顧問も歸山、停車場にて會合同行されたり、十二時三十四分伊佐驛にて下車し、一茶亭に入りて休憩、三時より會場なる小學校に到りたり、聽衆約七十餘名、大槻村長、恒川校長其他有志列席す、荒川顧問開會の趣旨を述べ、次に自分講話、五時半閉會せり、直に汽車に乘じ、福知山驛に歸着、一旅亭にて夕飯を喫し、急ぎ曾我井村字堀に着、會場なる學校に到りたり、芦田校長、横山、小川、荒木の三郡吏員、大に斡旋の勞を執らる、八時開會、聽衆約二百五十餘名、荒川顧問の開會の辭、自分の講話例の如し、閉會を告げたるは十一時なりき、夫より福知山萬喜樓に歸りしは十二時なりき。

二月十二日　午前十時高木、山口兩幹事、山口事務員同行、雀見村字千束に到りたり、一茶亭にて晝飯を喫し、午後三時より尋常小學校にて開會、吉見村長、中山校長、土井河合村長等列席、聽衆約百餘名、山口事務員開會の辭を述べ、次に自分講話、五時半閉會せり、直に車を馳せ、上六人部村字三俣長川寺に着、時正に七時、聽衆約百五十餘名、池田村長、樋見校長、今川訓導等列席す、例の順序にて、講話を了したるは、九時過なりき、一行の福知山に歸着したるは十一時なりき。

二月十三日　午前九時吉田、佐藤兩幹事、山口事務員同行、下野宮村字新荘條齋校に到りたり、十一時開會、聽衆約百餘名、足立村長斡旋せらる、例の如く講話を了したるは、午後一時なりき、急ぎ晝飯を喫し、上野宮村字臨松林寺に到りたり、此處は參會者約六百餘名、聽衆等の至るを、今や遲しと待ち居たり、臨林村長、今井校長を初め、役場吏員、學校職員、赤十字社員等列席す、着場するや、直に山口事務員開會の辭を述べ、次に例の如く講話し、終りを告げたるは六時半なりき、後村長一場の謝話をなし、閉會を告げたり、齋藤の饗を受け、七時半頃同寺を辭し、歸路に就き福知山萬喜樓に歸りたるは十一時なりき、荒川顧問來訪されたり。

二月十四日　午前九時山口事務員同行中夜久野村字高内尋常高等小學校に到れり、時正に十二時過なりき、晝飯を喫し直に開會す的場助役水上校長同幹事斡旋の勞を執らる、聽衆約百餘名山口事務員の開會の辭、自分の講話例の如し山口事務員は先發上夜久野村字直見に赴かれなり四時閉會直に車馳せて上は夜久野村精華校に到れば聽衆已に堂に滿ち自分の來校を待ち受けたり、其數約八百（男女各半數宛）中には三里餘の遠方より來れるあり、同村は天田郡の模範村にして人民の朴直なる教育勸業公共事業より發達せる他に其比を見ざるなり、閉會を報じたるは六時頃なるも聽者は靜肅に恰も水を打ちたる如く熱心に聽き取りたり、八時半閉會を告ぐ、居相村長夜久助役有馬校長用瀨幹事等來訪晩餐を共にし快談數刻十一時頃各歸宅なしたり。

二月十五日　午前八時居相村長有馬校長見送りの爲め來宿されたり此處にて別れを告げ山口事務員同行上川口村字野花へ向け出發せり、途中村民に出遇へば男女を問はず老幼を別たず皆々丁寧に禮をなす樣他所に見ざる所模範村の名決して空しからず、十一時半野花村に着、一旅亭に入り休憩す、福知山より吉田館山の兩幹事來村午後二時より小學校に於て開會聽衆約百五十餘名例の如く講話し五時閉會直に車を馳せ福知山へ歸着したるは八時頃なりき。

宮城支部遊說記

野中彌知子

第一回報告

三月十三日　午後九時十分上野發列車にて出發
十四日　午前八時二十分着仙、松永評議員石橋奧宮兩副長西村山形兩評議員竹内相談役石森主事出迎はれ奧田旅館に投宿せり
十五日　午前十時二十分仙臺發列車にて刈田郡白石町に向ふ、同十一時三十分着伊地知幹事部長渡邊鈴木前島佐藤加藤森幹事相場齋藤委員亘理醫師鈴木縣會議員水野町長前田警察署長須江事務員等の出迎を受け、阿子島旅館に投宿せり、午後一時亘理氏宅に於て催されたる茶話會に臨み、舊白石城主片倉男爵夫人も臨席、夫れより會場小學校に至る、午後二時開會當日は降雪にて聽衆僅に三百餘名、伊地知顧問長野縣出張中に付き亘理氏代て開會の辭を述べ、竹内氏支部の希望を述べ了て講話、四時三十分閉會即時十名の申込あり、松永評議員竹内氏と阿子島旅館に投宿せり。

十六日　午前八時松永評議員竹内氏と共に亘理氏の案内にて、片倉男爵家を訪問し、夫れより製糸場を一覽し、直に腕車を驅つて齋川村に向ふ、當日幹事部より片倉夫人前島加藤兩幹事相場齋藤委員同代理として後島貫馬治（孫太郎虫製造者）氏の案内にて田村神社に參詣し、午後二時開會、極めて小村なれども聽衆四百餘名、鈴木氏開會の辭を述べ了て講話、靜肅に趣旨を聽取れり、四時三十分閉會、直に腕車を驅つて白石町宮森家渡邊佐吉氏宅に入る、晩餐の饗應を受け同家廣間に一族四五十名を集め、八時開會、亘理氏開會の辭を述べ了て講話、九時三十分閉會、當夜は片倉男爵夫人も臨席されたり、松永評議員竹内氏と共に阿子島旅館に宿泊せり。

十七日　午前九時三十分白石町を發し、松永評議員竹内氏と共に腕車を驅つて宮村に向ふ、當日白石町より渡邊鈴木前島佐藤森幹事鈴木縣會議員須江事務員同行十一時着、寺院に入り暫時休憩の後、宮司の案内にて同村白鳥神社に參詣し、午後二時開會極めて小村なれども聽衆五百名、鈴木氏開會の辭を述べ次に講話四時四十分閉會、幹事部より同行の一行に別を告げ直に腕車を驅て柴田郡大河原驛に着せしは六時頃なりき、伊藤顧問渡邊郡書記休憩所大兵旅館に來訪されたり、七時三十七分同驛發列車にて八時三十分着仙、奧田旅館に宿泊せり。

十八日　午前十一時五十二分仙臺發列車にて、石橋副長竹内氏と共に伊具郡角田町に向ふ、槻木驛にて下車志藤郡視學出迎はれ、是より馬車にて同町に着せしは三時頃なりき、三時三十分小學校に於て開會、當日は降雪寒氣殊に烈しかりし爲め聽衆僅に三百餘名、草間顧問開會の辭を述べ了て講話、五時三十分閉會四方館に宿泊せり。

十九日　午前九時三十分馬車にて、石橋副長竹内氏と共に丸森町に向ふ、草間顧問伊藤廣西兩郡書記同行館矢間にて下車、是より腕車を驅り十一時三十分着高池旅館に投ず、午後二時小學校に於て開會、聽衆三百餘名、草間顧問開會の辭を述べ了て講話、四時四十分閉會、竹内氏急用上京の爲め當地より歸仙、石森氏更代腕車にて直に金山町に向ふ、高成田町長志間氏（有志者）途中迄車上出迎はれ、五時三十分着、石橋副長石森主事と共に玉川旅館に宿泊せり。

二十日　午前八時三十分志間氏夫妻島崎幹事の案内にて、勤王家中虎之助氏の墓參を爲し、歸途製糸場を一覽し、直に會場小學校に至る、十一時開會聽衆四百餘名、草間顧問開會の辭を述べ次に講話、午後二時二十分閉會直ち腕車を驅り歸途に就けり、志間氏夫妻村界迄見送り來り、是にて告別、夫れより館矢間にて下車し馬車に乘替へ槻木驛に着せしは六時三十分頃なりき、七時三十分同驛發車にて八時三十分着仙、奧田旅館に宿泊せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支部記事

▽東京支部近況△

▽東京支部顧問の榮轉　去三月二十五日本會東京支部顧問千家尊福男は、司法大臣に任ぜられ、同日午前十一時宮中に於て親任式擧行せられたり

▽慈善演劇　去月中新富座に於て擧行したる當支部主催の慈善演劇は、幹部の職員等が熱心なる盡力の結果と、一般篤志者の厚意とによりて、頗る好成績を擧げたりと、猶其純益は決算後にあらざれば判明せざるも、約一萬圓內外の見込なりと聞く。

▽熊本支部近況△

▽愛國婦人會熊本支部例會　は三月十六日午後一時より赤十字社熊本支部に於て開催したるが、來會者は押川支部長石原支部副長西島評議員を始め幹事以下會員七十餘名、支部よりは河內山主事吉田島田村上の各事務員出席せり、先づ西行師の講演あり次いて筑山女史は例に依り趣向嶄新にして最も有益なる料理法の講話ありしが、何れも頗る趣味に富み、ことに夫人會擴張には多大の稗補を與へしなるべし、終つて河內山主事より會務の報告を爲し、散會せしは午後四時頃なりき。

▽癈兵遺族慰問　本會熊本支部に於ては先頃來縣下全般に亙り遺族癈兵の慰問を開始せんとの計畫を立て、住所其他の取調及慰問品の調製を急ぎつゝありしが、既に略ぼ出來揃ひたるを以て、先づ市及市附近の二百餘戶には支部正副長評議員以下支部幹事七十餘名にて各方面を分擔し、三月中旬より愈々訪問に着手し、又各郡部の分二千餘戶に對しては、引續き各幹事部の幹事部長幹事總掛りにて、漏れなく慰問をなす筈なりと云ふ。

▽芦北郡幹事部內湯浦村　に於ては、三月十七日同村總會を諏訪神社の境內に開けり、來會者支部よりは南木大塚氏吉田事務員、幹事部よりは幹事部長高野吟子幹事部顧問高野郡長後藤郡書記同村委員宮島村長幹事宮島しげ子會員宮島いつ子外百餘名にして、來賓として會せるものは板井佐敷警察署長同村有志在鄉軍人等總數五百餘名に及びたり、先づ宮島委員開會の旨を告け高野顧問の祝詞宮島委員の答辭等あり、次て支部出張員南木氏本會の趣旨目的に就き最も通俗的に諄々として說く所あり、來會者一同に非常の感動を與へたり、夫れより極めて質素なる饗應ありて餘興に移り十二分の歡を盡して散會せり。當日此盛況を見んとて近鄉より集りたるもの二千餘名に達し、廣き境內も狹きを感じ該地方に於ける近來の盛會なりし。

從來同村に於ける會員は僅かに二十餘名に過ぎざりしが、幹事部長を始め同村委員幹事會員有志者等の非常なる盡力により、八十餘名の新入會者を得、女子人口百人に對し會員四人の步合に達したり。

▽新潟支部近況△

▽佐渡郡幹事部　は去る三月十四日午後一時より相川町外四ヶ村に於ける遺族癈兵の第一回慰安會を相川町中敎院に開きたるに、來會者三百名の多きに達し、各員の席定まるや先づ君が代の樂を奏し、終つて深井幹事部長の挨拶笠井郡書記の會務報告柄澤辯護士の演說等あり又竹中醫學士よりの祝詞を朗讀し、夫れより深井郡長は遺族總代井田東作の母を伴ふて答辭を述べ、餘興として蓄音機能樂等の催あり、當日は場內に紅白の幔幕を廻らし萬國旗を吊し、又遺族へは菓子一折を贈與し來會者へは茶菓を饗應し、其散會したるは午後六時二十分にてありき、但し當日は同郡に於て最も多數の戰病者を出したる日にして一般の來會者は皆綿服を被ふり最も質素を極めたる會合なりしと云ふ。

▽宮崎支部近況△

▽癈兵遺族戶別慰問　宮崎支部にては先頃支部長以下職員一同協議の上同縣下に於ける癈兵遺族の情況を巨細調査したるが其の結果として同遺族戶別慰問を爲すことに決定し先づ宮崎郡より開始し支部幹事、幹事部幹事を合し一ケ村三名づゝの割合にて各村に慰問者を派出し同支部よりの慰問狀及び慰問品を齎し親しく慰問することゝなれりと云ふ

▽青森支部△

▽癈兵慰問　青森市幹事部は、過日來公立青森病院に入院治療中なる上北郡七戶町三番地癈兵塚原政吉氏の傷後の發病に同情を表し丙組長幹事樋口たか子は金參圓に見舞狀を添へ幹事を代表して慰問し西澤支部長の傳言をも致したりと云ふ

▽青森支部近況△

▽青森支部內西郡幹事部　に於ては去三月六日町村長集會に於て協定したる事項左の如し

一、會員增募に就ては各位の御援助に依り現今の盛況を見るに至りしは深く感謝に堪へざる所也本年二月二十五日支部に於て調査せし本郡の會員數は千六十六人內特別六十五人にして之を支部豫定配當數に比すれば僅か七名の不足に過ぎず然れども會員中他郡市へ轉籍其他死亡し未だ之が手續をなさゞるもの約三十名あり是等の不足は一層の御盡力を以て來る六月十日迄に募集せられん事を望む（特に車力舘岡、鳴澤、越水に增募を望む）

二、未納會費に就ても各位は熱心に御盡力せられつゝあるも各町村通して實に二千二百餘圓あり之等は會員か不知不識の間に滯り居る向きもあり亦一は戰役の終了と共に婦人會は解散したりと誤解し或は婦人會なるものは如何なる主旨に基き設立しあるか知らざる會員ある爲め斯く未納を生ずる事と信ず現に昨年十二月事務員をして二三の村に派遣各戶に就き會費を徵收せしめたるに前述の如き會員は實際ありたり各位に於て好機あらば之等會員に能く本會の主旨を知らしめられたし尙未納の會費は來七月廿日迄に整理あらんことを希望す

三、遺族癈兵貧困者救護に就ては本會の主旨に依り每年金員を贈與し來りたるも其額甚た僅少なり之れ未納會費等の爲め餘儀なき次第なり此際一時寄付者を勸誘せられたきを望む

五拾圓寄付者五名　百五拾圓寄付者二名以上

之れ遺族癈兵貧困者救護上必要と認め支部より當部へ配當を受けたるものなり

四、本年秋季を以て青森支部第二回總會開催の上　總裁殿下の台臨を仰ぐことに決定せられたり御承知置かれたし

五、會員增募、會費未納整理、寄付金勸誘に付御困難の向へは都合により支部又は當部職員を派遣應援可致候に付狀況を記し當部へ申越れたし

六、幹事贊事其他の有志者にして本會會務に熱心盡力者には詮議の上有功章を贈與せらるべきに付相當と御認めのものあらば其功績を詳悉內申せられたし

七、一項、二項、三項は郡內幹事、贊事委員等へも御協議の上協力其目的を貫徹する樣重ねて希望す

▽宮城支部△　本部遊說員富樫眞喜子氏の各郡に於ける講話會日割左の如し。

講話會　講士富樫女史

郡市名	月日	會場	宿泊所
	四月十三日	仙臺發遣中	
玉造郡	四月十四日	岩出山町	岩出山町
	仝十五日	溫泉村	溫泉村
	仝十六日	遣中	古川町
黑川郡	四月十七日	吉岡町	吉岡町
	仝十八日	大谷村	仝
	仝十九日	富谷村	富谷村
	四月二十日	休	仙臺
	此間本會總會の爲め休會す		
	五月二日	仙臺發遣中	千厩町
本吉郡	五月三日	氣仙沼町	氣仙沼町
	仝四日	御嶽村	御嶽村
	仝五日	志津川町	志津川町
	仝六日	柳津町	柳津町
牡鹿郡	五月七日	石ノ卷町	石ノ卷町
	仝八日	荻ノ濱村	仝
	五月九日	遣中	仙臺
名取郡	五月十日	岩沼町	仙臺
	仝十一日	增田町	仝
	仝十二日	長町	仝
	五月十三日	休	仝
仙臺	五月十四日	仙臺	仝
	仝十五日	仝	仝

▽德島支部近況△

同支部にては愛國婦人會の事業非常に擴大を極め其會員步合の如きも婦人百人に對する五人五步の割合にて全國第一の成績を示せるが現任村上知事夫人の如きは數里の遠き山村にも一二泊を掛け自ら草鞋を穿ちて熱心誠實勸誘に努め居れり靡鄉の與を以て斯く迄熱心に事に從ふこと實に感謝すべしと

▽群馬支部近況△

▽慈善演藝會　高崎幹事部の主催にかゝる慈善演藝會は去月廿一二三の三日間每日午後六時より入島町高盛座に於て開會藝妓手踊其他貴婦人連の囃子あり頗る盛會なりき廿一日夜の入場は千五十名、廿二日夜九百八十五名なりき。

▽京都支部近況△

授產場の繁忙　當支部の授產場經木眞田組の製造は三十八年五月開始三十九年三月よりは專ら巡査の夜具制帽の製造に從事しつゝあるが其の請負高は千三百個にて癈兵及遺族十三名にては手廻兼ぬるより六角夫人實藤夫人入田夫人木村夫人中井未亡人等日々授產場に通ふて助力を與へつゝありといふ

▽佐賀支部近況△

愛國婦人會員數當支部會員二月末現在數左の如し

幹事郡名	會員數 特別	通常	計	女子對百人・會員步合
藤津郡	七九	一、二五一	一、三三〇	四、〇人
小城郡	六五	一、一六八	一、二三三	四、八四
佐賀市	二〇〇	四〇八	六〇八	四、四六
東松浦郡	一四四	[illegible]	一、三五一	三、四四
西松浦郡	九六	一、〇一八	一、〇八六	三、一三
神埼郡	八〇	六八六	七一八	二、九一
杵島郡	八一	一、三六五	一、四四四	二、六六
三養基郡	四八	五七二	六二九	二、一六
佐賀郡	八〇	九五五	一、〇三三	一、九二
合計	九一〇	八、八九九	九、八〇九	二、九六
前月末現在	九〇八	八、八八八	九、七九七	二、九六

備考　前月末に對比し特別に二人通常に十人計十二人を增す

▽島根支部近況△

去月十六日當支部に於て評議員會開會、出席者は松永顧問、本岡參與、評議員六名にして四十年度決算報告四十一年度經費豫算（二千四百七十三圓）、基本金豫算四千二百六十一圓十八錢三厘）、收支豫算（收入七千三百九十六圓九十一錢支出二千三百七十五圓）、支部顧問中追加幹事會總會費用補助規程等を議決し閉會せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▽愛國心千人針▽

去月中新富座に於て興行せられし、愛國婦人會東京支部主催の慈善演劇中大切狂言として、喝采を博せし愛國心千人針は、三十七八年戰役酣なりし頃の實譚なるが、子を思ふ母親、國を念ふ健兒の心情など其處に無限の味ひあるを以て、大略其筋を述べんに、茲に芝區柴井町の大工職中村熊吉といふ者、日露戰役の爲、召集せられて出征するに際し、母親は白木綿の裂と糸と針とを持ちて、新橋停車場の群集の場所へ至り、徂徠の婦人に一ト針宛縫て貰ひ居る處に、いとやんごとなきあたりの御方通りあはせ給ひ、不審に思して其理由を尋ねしに、之は千人の人に一ト針宛縫ひて貰ひ、夫を腹巻にして行けば敵彈は通らぬと聞き、門出の息子に遣さん爲、群集の巷に來りて、情ある婦人に賴むなりと答ふ。之を聞きし高貴の夫人は、老媼の心をいとをしく思し給ひ、手づから一ト針縫ひて行過ぎ給ふを、傍にて見聞せる人々の、彼君こそは某夫人とて高貴の人、今貴婦人社會に名望並びなき御方なりと告ぐるに、とも知らざりし老媼は餘りの冥加に感泣して歡び、最早他人の手を勞すに及ばすと、急ぎ自宅をさして歸り行く。柴井町の熊吉方にては今にも出發せんとするに母親の行衞知れず取のぼせてさまよひ出しかど、友人及近隣の誰彼探しに行かんとする所に、老母歸り來り千人結の裂を出して其理由を話し今日停車場に於て、某貴夫人が一ト針縫て下されたりと語りつゝ、母が出征の餞別なりとてその腹巻を渡せば、一同感心して老人までが此勢ならば我國の大勝利は疑ひなしとて、勇み立つ折から町內の兵事會員旗を立て、見送に來るに會し、一同萬歲を唱ひつゝ、家を出るといふ筋にて若き老ひたるを問はず、國民一般に愛國心の極めて熱烈なる事を見せたるものなり。

◀◀◀櫻花と姸を競ふ姉妹雜誌の盛裝▶▶▶

女學世界

四月一日發行　八卷第五號　正價二十錢　郵稅二錢

◉東京婦人の側面觀　毒紅唇
◉家庭の不和を嘆く女へ　女徐福
◉世帶に金を懸けぬ工風　水原翠香
▼文藝婦人と實業婦人
▼於應接室　下田女史
▼女子師範の寄宿舍
▼時勢に葬らるゝ女
▼可惜花嫁を惱す男
▼着物の着方と女振
▼自活の出來る裁縫法
◉約婚日記　野菊子
◉朧月夜　てる子
哺乳日記　津留子
◉前金郵稅共▽四冊八十三錢▽八冊一圓六十一錢△十六冊一ケ年三圓十二錢
◉顯微鏡と帶一と筋　井深花子
◉三都生活の大樣　等々力大觀

少女世界

四月一日發行　三卷第五號
▼正價十錢郵稅一錢◉郵稅共四冊四十二錢八冊(半ケ年)金八十三錢

●口繪　◉八重ざくら 彩色石版美方筆　◉船見る少女 彩色石版三郎筆
◎唱歌 少女春は來ぬ　田山花袋　●乳母の家　●灰の世界
◎お伽小說 綠草紙　巖谷小波　●手毬の歌　●人の眞似
◎少女小說 樂み箱　西村渚山　●櫻のうた　●考物新題
◉摘草　●紀念のお伽花籠　◉女學校めぐり　●愛讀諸孃の面影　●第二回筆蹟披露
◎小訓　小波　●少女英語の問答
◎編物　富子　●高輪御殿御慶筆　●訓話乳母の家
◎造花のやを　●少女小說花の友　●祇園さくらゝゝ

東京日本橋本町　博文館　郵稅振替貯金口座二四〇番

ラクダ石鹸

本品は高貴なる麝香に愛すべき「スミレ」の香料を多量に含むが故壹度使用せば其香氣五日間馥郁としてかほりを失はざる一大特點を有す

定價〔大形金廿錢　小形金拾錢〕

東京日本橋區本石町三丁目　芳香藥種問屋
本舖 井上太兵衛

日本興業銀行

東京市麴町區錢瓶町(常盤橋內)
電話本局 一、二八〇〇番　三、三〇〇〇番　四一番　三七番　(特)一〇二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目
一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

一森式座椅子

特許第九〇一〇號
一箇にして甲乙丙丁の四種に變化す

定價
一更紗蒲團付　金六圓五十錢　特製　金七圓
一メリンス友禪又は繻子更紗蒲團付　金七圓五十錢　特製　金八圓
(荷造費運賃共實費)
◉右の內上等品は御好みに應ず

東京芝區下高輪廿一番地(東禪寺電車停留場前)(電話新橋三〇六五番)
製造發賣元　樂民堂
特約店　東京大阪 三越吳服店

良家の婦人にして未だ本誌を讀まぬ人ありや

婦人世界

四月一日發行　三卷四號　一冊拾五錢郵稅一錢五厘　六冊郵稅共九十錢

婦人界の大評判となりたる
男女戀愛論　村井弦齋
△財產結婚とは何ぞ…　△人物結婚とは何ぞ…　△肩書結婚とは何ぞ…
△氣樂な家とは如何なる者ぞ　△都會生活は果して幸福なるか　△血族結婚は如何なる害あるか

◎斯くの如き女中は決して成功せず…清風生
◎廿年實行せる我家の貯蓄實驗　佐治實然
◎矯正すべき女學生の惡癖…三輪田元道
◎媒妁口に誤まられし婦人の實例…山田春子
◎私の好きな婦人　小栗風葉
◎軍人の家庭：木村中將夫人
◎小兒發熱手當：加藤博士
◎安產は如何にして得べきか
◎名歌評譯春の月…白水
◎鷄卵料理　弦齋夫人
◎小說より面白き時計物語
◎女醫實歷　驚山彌生

東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替貯金三二六番

婦人と小兒

特色　現社會の二大問題たる婦人と小兒に對し人類學的見地より根本的原始的に攻究說明したる唯一の大著述

理學博士 坪井正五郎著

批評　婦人の化粧、服飾、婦人の仕事、親子の關係、小兒の習慣動作等を犯述したる書なり(讀賣新聞)

定價金八拾錢

揭載要目　▽日本婦人▽アイヌの女▽諸人種婦人の化粧▽配偶の撰擇▽夫婦の關係▽小兒の習慣

京橋區南鍋町一丁目二番地　隆文館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

―春季雜題―

内藤鳴雪翁選

天　春風や凧に乗りたき我か思ひ　下野　黒須　輝子

地　木曾殿の粟津あはれや餅鮨　三重　西山　數子

人　放下師をおつとりまくや春の人　東京　赤澤　英子

秀逸

名劍を奉する宮や風光る　函館　太田　愛子
潮干して女浜に磯菜一二寸　仝　仝　上
舞ひたりし扇拾ひぬ花の陰　岡山　清水　梅子
春雨に興覺め貌の鶏かな　東京　加藤ふみ子
手枕のしひれ耻かし春の雨　岩代　長谷川よしの子
折りて君に柳一えだたら／＼　神戸　岡　かつ子
古歌に知る紅梅古りし御寺哉　鳥取　佐伯くに子
頭巾着ておとなふ人や梅の門　仝　仝　上
花吹雪をと女の袖の飄々と　岡山　坂田　元子
菜の花や井筒の殘る寺の跡　越中　永井千代子
朦朧の影地に印しけり櫻花　能登　大坪外與子
海棠や色のあせたる夜の雨　愛知　下郷末野子
島原の夜はまたあけす鳴雲雀　京都　山本千代子
つみ草や少女の歌に蝶も舞ふ　東京　鈴木　粂子
芍藥の新芽も出たり春の雨　山口　末田　竹子
扱鎚えて里に一里や菜の畑　備後　金原なを子
草摘みに背戸を出るや二人連　東京　栗山てい子
徒然と背戸の畑うつ翁かな　岡山　西村長子
桃咲くや門に見送る人の妻　仝　仝　上
鶯の方へ／＼と歩みけり　下野　黒須　輝子
春の海女棹さす小舟かな　三重　西山　數子
牛飼の多き小村や桃の花　東京　赤澤　英子
山かけて須磨は朧に霞み晩　函館　竹内　梅子
鶯のことさら嬉し朝の聲　三河　石川　類子
ふるさとの空なつかしき櫻哉　東京　粟原　花園
ちる花を諸手にうけて女の子　京都　中川たか子
空繰り花紅ゐに鳥白し　東京　伊藤きぬ子
雛兒の髮そろ傺や暖き　三重　長井　緑子
山吹の一とすち道や水車　香川　瀨高やす子
小草霞やたか脱すてし花の下　山形　阿部さゐ子
若竹や奈良には安き人心　愛知　下郷きみ子
花の雲世を一はいの夕陽哉　山口　原　ゑ二子
古書藏す隱士の庭の辛夷哉　函館　五十嵐やす子
初蛙田に皺あらふ夕か南　三重　鈴木はる子
凧あけて日向に集ふ童子哉　下野　黒須　輝子
里に來て髮結ふ嫁の日永哉　函館　菅原よし子
夕雉子や畑の滿ちし山の猶　三重　莊司　種子
おり立ちて水際覗く柳かな　紀伊　中橋多麻子
春の水太平洋へそゝきけり　三重　西山むさゑ子
獻傍山に松の花ちる四月哉　仝　仝　上
霽の日や梁寳る女聲高し　大分　桂木　文子
白帆多き太平洋や春の風　東京　中山　由子
金屏に積みし爛闌や春の宵　仝　仝　上
水音のかくれて高し若葉山　京都　鈴村すゞ子
月朧箏の音洩れて庵の灯　函館　小川喜代子
火事跡に柳一樹や春の雨　仝　仝　上
咲滿ちし花の中なる薬屋哉　石川　小坂　夏子
閑居して吹く笛の音や朧月　仝　仝　上
梅一樹月一輪の餘寒かな　仝　仝　上
小公達よゝと召したり草の餅　山城　古川よれ子
涅槃會に經讀衆衣の比久尼哉　仝　仝　上
青柳の影や夜澤の水かゝみ　東京　鈴水　粂子

家庭と衛生

◎醫者と藥（附不良牛乳の注意）

病氣のときに頼るべき者は醫者と藥です此の二つが相待つて始めて治療の目的が達せられます醫者ばかりよくても藥の調合法と原料が惡ければ何の効果も得られません茲で私どもでは醫者の處方で作る藥は經驗ある藥劑師に擔任させ尚藥の原料は私どもの試驗室で一々蜜かに檢査したものを調合するのですから調劑法も原料も確實で藥劑として完全なものです尚私どもの試驗室では、牛乳、飲料水、其他何でも一般飲食物の衛生的化學的檢査の御依頼に應じます夫れで不良の牛乳がお小兒衆は勿論總ての御方に及ぼします健康上の害毒は今更申上ずとも御承知の方もありますが摘んで申上ますと是れが爲めに小兒は營養不良に陷り慢性の下痢症を誘起し又大人の方にも不良牛乳が不健康を來す原因となる事等其害は擧げて數へる事も出來ません實に注意すべきは牛乳の良否鑑別であります殊に齊家の任に當る御婦人の身としては乳期のお兒さんには一層の御注意をなさらなければ取り替しの付かん事があります私どもでは此の牛乳檢査は利益上でなく最も便利に御依頼に應じます

醫科大學病院　赤十字社病院　公私立病院　陸軍御用

處方調劑所

局主　大西橘三
調劑部　田中利弘
試驗部　田中義廣

尾澤純良堂　神田區今川小路三丁目　大西橘三藥局　電話本局一五一八番

◉色を白くしにきびしらず

獨逸國ドレスデン市　ロール、メヂシンス會社製品

皮膚特効美白新劑

チプリ化粧水

縮圖

○本品は西暦千九百六年の發明にして常用せば肌を軟密にし自然白色艶麗の美顔たらしむる事は第一の特色なり

○本品は皮膚に特効ある藥品を配劑しあるに依り「ニキビ」「ソバカス」「ハタケ」其他顔の「アレ」等に最も奇効あり

○本品の効能顯著なる事は試驗成績の結果に於て之を確むるを得遂に政府印紙を貼用するに至れり本邦に於て化粧水に印紙を貼用するは本品を以て嚆矢とす

○東京市内は勿論到る處の賣藥小間物化粧品店にあり品切れの節は送料八錢（六瓩迄）相添へ本舖へ御注文あれば直送す

正價小瓶三十グラム入　金二十五錢

日本一手販賣　東京日本橋區本石町　松澤常吉

私立日本女學校

●本科　五ケ年にして高等女學校程度の學術技藝を授け兼て家政科技藝科實業科中の各學科を隨意に撰修することを得せしむ◉本科の學科目は▲修身▲國漢文▲英語▲地理歷史▲數學▲理科▲家事▲裁縫▲圖書▲音樂▲體操

●家政學　三ケ年にして家庭管理上の智識技能を養成し兼て本科技藝科實業科中の某學科を撰びて學習することを得せしむ▲家政科の學科目は▲家庭組織▲家庭道德▲家庭憲法▲家庭行政▲家庭衞生▲家庭經濟▲家庭料理▲家庭衣食住▲家庭敎育

●技藝科　五ケ年にして日常必要の技藝を授け希望によりては實業科家政科本科の或る學科を撰修せしむ▲▲技藝科の學科目は▲和洋裁縫▲和洋割烹▲編物▲組物▲袋物▲刺繡▲活花▲點茶▲琴

●實業科　三ケ年にして女子の獨立生活に必要なる智識を授け希望によりては技藝科家政科本科の或る學科を修むるとを得せしむ▲學科目は養蠶、養桑、養鷄、養蜂、機織、染物、製紙、等其他各種の家庭農藝▲家庭工藝▲女子に適切なる商業要項

◉新計畫　●家政科、實業科に各二ケ年の豫科を設く

◉入學の資格　●高等小學二年修業者を本科、技藝科及び家政、實業兩豫科各一年に高等小學三年修業者は本科、技藝科各二年に家政、實業兩豫科二年に高等小學四年卒業者は本科、技藝科各三年家政科實業科各一年に無試驗入學を許す

◎學校の位置　●東京市本郷區龍岡町（電車停留所前）

◎寄宿寮　●校長西澤之助の自宅にありて地方遠隔の者の東京遊學に便ならしむ

◎寄宿寮及學校の規則望の者には郵券貳錢にて送る

生徒募集　私立日本女學校

◎生徒募集

本校入學資格○美術部は高等女學校卒業者技藝部及選科美術部豫科は高等二年卒業者右の者は無試驗にて入學を許す

入學申込は三月末日限り

東京市下谷區谷中初音町四丁目（元美術院跡）

私立日本女子美術學校

見よ陽春必讀の好小說能裝して現れたり

小栗風葉君著　天才

△定價七拾五錢△　△郵稅八錢△

これ風葉君が其一代の心血を傾注せる新刊の大傑作たり。陽春の天地に必讀の好小說!!

發兌元　東京京橋南鍋町一丁目　隆文館

草村北星著

相思怨　定價七十五錢　送料金八錢

露子夫人　定價七十五錢　送料金八錢

澄子　定價金六十錢　送料金八錢

百合子　定價七十五錢　送料金八錢

ムスク香水

（大瓶壹圓◎中瓶六拾五錢◎小瓶二十五錢）

○本品は芳香の永く保つ點に於て頗る高評なり

東京日本橋區本石町四丁目　ホーサン石鹸本舖

本舖　松澤常吉

新小說　四月號

▶◀小說▶◀

邪魔者　柳川春葉
若き人　草野柴二
日本丸　佐野天聲
人の命　太田宙花
海の悲劇　森岡騒外
探偵‥兒玉花外

家庭に於ける行事‥岡野知十
家庭と禪味‥道重信教
天然痘と種痘‥石原醫學士
鈴が森の脚本‥伊原青々園
梨園聞書‥山岸荷葉
●花道日記‥高崎春月
●●流行せる髮飾、帶留

自然派比較論　後藤宙外

●文藝と肉情‥片山孤村
ツルゲーネフのルーヂン‥八杉貞利
島嶼生活の文學‥畔柳芥舟

花間文字‥鏡花
近松著作雜考‥高野斑山
羅馬の謝肉祭‥山本迷羊
民謠‥薄田泣菫
夢想橋‥岩野泡鳴
支那植物妖談‥前田曙山
共同長屋生活‥新馬劍客
紫玉の逸話‥鈴木春浦

●口繪　梶田半古、渡部審也、本多穆堂、石版三色版

●實價廿五錢郵稅貳錢五厘　六冊前金一圓五十八錢

東京日本橋　振替一六一七　春陽堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會神奈川支部幹事小肖

明治四十一年四月五日（毎月二回五日廿日）發行　明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可

佩二等有功章

有泉幸子

佩三等有功章

松岡トキ

佩二等有功章

中山あい

佩三等有功章

田中よれ

大西さと子

佩三等有功章

新山ツタ子

佩三等有功章

淺岡珠子

山本ミツ

佩三等有功章

長谷川さだ

發行兼印刷人山澤俊夫　編輯人永持德一　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所　印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN